

コミュニティ・スクール 実践集 2025



令和8(2026)年3月
名張市教育委員会

目 次

はじめに	．．．	1
名張版コミュニティ・スクール	．．．	2
名張版コミュニティ・スクールの取組		
■名張小学校 学校運営協議会	．．．	9
■蔵持小学校 学校運営協議会	．．．	13
■薦原小学校 学校運営協議会	．．．	17
■比奈知小学校 学校運営協議会	．．．	21
■美旗小学校 学校運営協議会	．．．	25
■箕曲小学校 学校運営協議会	．．．	29
■錦生赤目小学校 学校運営協議会	．．．	32
■桔梗が丘小学校 学校運営協議会	．．．	36
■桔梗が丘南小学校 学校運営協議会	．．．	39
■桔梗が丘東小学校 学校運営協議会	．．．	43
■すずらん台小学校 学校運営協議会	．．．	46
■梅が丘小学校 学校運営協議会	．．．	50
■百合が丘小学校 学校運営協議会	．．．	53
■名張中学校 学校運営協議会	．．．	57
■赤目中学校 学校運営協議会	．．．	61
■桔梗が丘中学校 学校運営協議会	．．．	65
■北中学校 学校運営協議会	．．．	68
■南中学校区（つつじが丘小学校・南中学校）学校運営協議会	．．．	72
付録：コミュニティ・スクールだより		

は じ め に

名張市では、令和2年に市内全小中学校がコミュニティ・スクールとなり、令和7年で6年目を迎えています。名張版コミュニティ・スクールのさらなる推進と充実に向け、今年度も市内18の学校運営協議会では、めざす子どもの姿を学校・家庭・地域が共有し、子どもの豊かな育ちと学びのために、知恵を出し合い、力を合わせて学校運営に取り組んできました。また、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進を進める中、学習支援や校内外での居場所づくり、地域行事への子どもの参画等、学校運営協議会での熟議が基になり、地域の特色を生かした取組が展開されています。

今年度の本市のコミュニティ・スクールに係る取組の特徴としては、教職員のコミュニティ・スクールへの理解促進、そして学校運営協議会への参加等を通じた委員と教職員の連携強化という課題を解決しようと、各学校運営協議会が工夫を凝らして開催されたことが挙げられます。これまで、小学校の学校運営協議会では教職員との懇談が行われることが多くありましたが、今年は初めて中学校でも教職員全員を対象とした熟議、懇談の場が設けられました。また、委員、生徒、教職員の三者で熟議を行うという新たな試みもあり、子どもが学び、育つ環境がより充実するコミュニティ・スクールの取組となるよう、各学校運営協議会では知恵を出し合い、進めています。

また、今年度は地域学校協働活動推進員が新たに委嘱され、4地域で5名の推進員が各地域で活躍されました。来年度はさらに推進員の委嘱を進め、学校が地域と一緒に子どもの主体的な学びや体験的な学びの機会をカリキュラムの中に位置づけたり、その機会を増やしたりすることも進めています。

改めて今、学校運営協議会の役割とは何でしょうか。

それは「魅力ある学校づくり」です。学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域と一体となって特色ある学校づくりを進めていくことです。子どもが安心して学校で過ごし、学校が楽しく、充実していると感じられるよう、家庭や地域と連携しながら、子ども主体の学びや多様な居場所づくりを推進し、子どもの自己肯定感や自己有用感が高められるように熟議を進め、地域学校協働活動との一体的推進を図ることです。今一度、原点に立ち返り、その役割を再確認するとともに、PDCAサイクル（計画・実行・評価・改善）を回し、更なる発展をめざしていきたいと考えます。

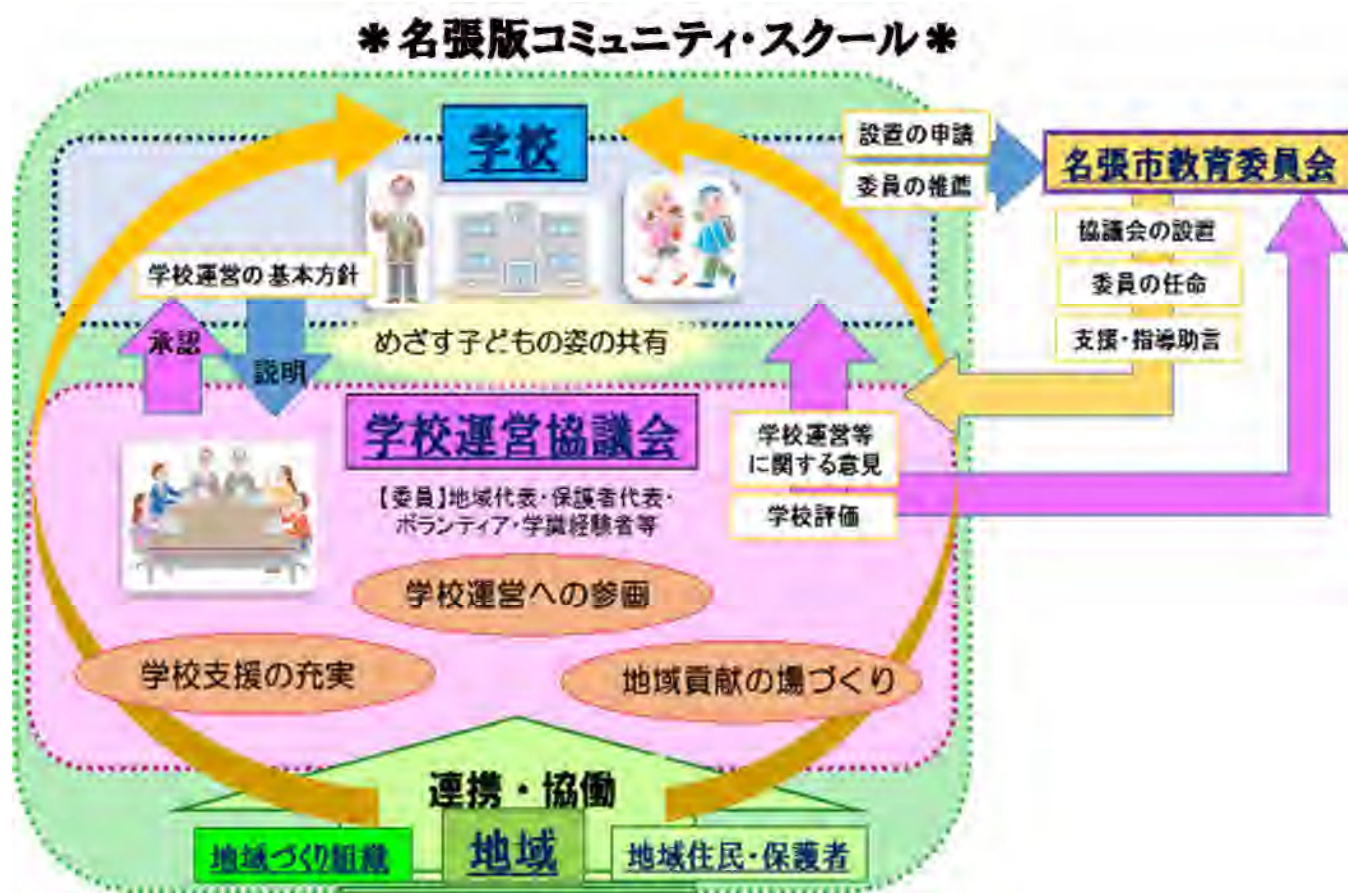
この「コミュニティ・スクール実践集2025」は、本年度の各コミュニティ・スクールの特色ある実践を集めました。様々な工夫をしながら取り組んだ各校の実践に学び、来年度以降の取組をどのように進めていくのかをともに考えていきましょう。

令和8年3月 名張市教育委員会

名張版コミュニティ・スクール

コミュニティ・スクールは、未来を担う子どもたちの豊かな成長のために学校・地域・保護者が連携・協働し、それぞれが、自分たちに何ができるか当事者意識をもって子どもたちの成長を支えていく仕組みです。子どもを取り巻く環境は今後、大きく変化していくものと考えられ、将来の変化を予測することが困難な時代を生きる子どもには、一人ひとりが多様な個性・能力を伸ばし、自らの人生を主体的にたくましく切り拓いていく力や人と繋がり、共に学び合い、支え合って豊かな未来の社会を築いていく力が求められます。

名張市では、市内すべての小中学校が学校運営協議会設置校（コミュニティ・スクール）です。名張版コミュニティ・スクールの特徴は、「学校運営」「学校支援」「地域貢献」を3つの柱として取組を進めていることです。それぞれのコミュニティ・スクールでは、学校・保護者・地域住民が、めざす子どもの姿を共有し、地域の子どもたちの「学び」と「育ち」に係わる当事者として、連携・協働した取組を実施しています。



【名張版コミュニティ・スクール 3つの柱】

① 学校運営への参画

市内のコミュニティ・スクールでは、学校と保護者や地域の皆さんが互いに知恵を出し合い、学校運営へ意見を反映させています。学校運営協議会においてめざす子どもの姿を共有し、課題解決等に向けて教育課程・授業改善・学校評価等の学校運営に参画しています。教職員や児童生徒とともに、各校の重点課題や現行カリキュラムに対する意見交換を行うなどし、特色ある学校づくりに向けた取組が進んでいます。

学校運営方針の承認



教職員との熟議



子どもの思いを聴く（小学校）



教職員との熟議



子どもの思いを聴く（中学校）



教職員との熟議



② 学校支援の充実

名張市では、平成１７年度から学校支援ボランティアの登録制度を設け、平成２０年度以降、国の学校支援地域本部事業を受けるなどして、学校支援の仕組みを構築してきました。コミュニティ・スクールの設置により、めざす子どもの姿の実現のための学習支援・部活動支援・環境美化・安全確保支援等の学校支援体制がさらに充実してきています。

算数科学習支援



校外学習見守り支援



放課後学習支援



読み聞かせ



水泳授業見守り支援



体育テスト支援



③ 地域貢献の場づくり

名張市内それぞれの地域づくり組織では、将来計画である「地域ビジョン」を策定しています。「地域ビジョン」には、地域づくり活動への参画や地域の担い手づくりに向けた、さまざまな活動が盛り込まれています。コミュニティ・スクールでは、「地域ビジョン」を共有し、地域を愛し地域を担う人づくり、地域の絆づくりのため、まちづくり活動への参画や地域と学校合同の防災訓練、地域の清掃活動など、学校の特色を生かした地域貢献の場づくりを行っています。子どもが今住んでいる地域のことを知ることは、地域を担う人づくり、絆づくりにつながるとして、地域学習へも積極的に取り組んでいます。

地域イベント運営



地域イベント運営



地域への感謝の会



地域イベント運営



委員との懇談



地域清掃活動実施



防災訓練参加



地域イベント運営



通学路危険箇所点検
・清掃活動支援



【 コミュニティ・スクール と 地域学校協働活動の一体的推進をめざして 】

コミュニティ・スクールの取組の中で、学校は、地域住民の力をお借りし、地域学習に取り組んでいます。子どもは、農業体験や行事への参加を通して、ふるさとの自然や産業、歴史、文化等に触れるとともに、その学習に関わっていただいた地域の方とふれあい、絆を深める機会を得ています。



～生活科昔遊び支援～



～季節行事支援～

これからの地域を支える子どもが、小中学生時代に地域の方々と触れ合い、様々な経験することは、少子・核家族化が進み異年齢とのコミュニケーションの機会が減っている子どもにとって、とても有意義な機会となっています。

また、地域の方々は、学校教育活動に参画し、ボランティアとして学校支援に携わることで、楽しみややりがいを感じてくださっています。

さらに、子どもや教職員は、地域の方々に支えられていることを実感し、感謝の気持ちを伝えることができます。卒業した子どもの中には、「地域の方々のように自分も誰かの役に立ちたい」「地域に貢献したい」という思いを持っている子どももいます。学校という場において、このような温かな関係が生まれていることは、子どもの豊かな心の醸成や地域の人づくりという点において大変重要なことと考えます。

少子高齢化の進行による人口減少社会とともに、グローバル化や急速な技術革新に伴い予測不可能で変化の激しい時代が到来しています。未来を担う子どもの豊かな成長のためには、学校と保護者・地域住民が連携・協働した取組を充実させていくことが必要です。

本市ではこれまでも、学校が主体となって行う教育活動とは別に、地域づくり組織等が学校と連携・協働する「地域学校協働活動」として「子どもを中心とした地域づくり」「学校を核とした地域づくり」を進めてきました。コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に推進し、ふるさとを知り、ふるさとを愛し、ふるさとの担い手となる子どもを育成し、地域づくりをめざします。



～ふるさと学習「なばり学」学習支援～

【 地域学校協働活動とは 】

地域学校協働活動とは、地域づくり組織等の地域住民、保護者、学生、社会教育団体やスポーツ・文化団体などの幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」をめざして、学校と地域が相互にパートナーとして連携・協働して行う活動です。

地域学習・職場体験学習

- ◆「ふるさと」について地域住民から学び、自ら地域について調べたり発表したりする活動。
- ◆地域の産業についての職場体験学習、郷土の伝統・文化芸能学習等。



～伝統・文化芸能学習～



～地域行事への参画～

地域の行事等への参画

- ◆地域の行事、イベントのボランティア参加・企画からの参画。
- ◆伝統行事での伝統文化・芸能の発表。
- ◆地域の防災訓練への参画等。

学校に対する様々な協力活動

- ◆登下校の見守り、花壇や通学路等の学校周辺環境の整備、本の読み聞かせ、授業補助や部活動の支援、企業等の教育プログラムの提供等



～長期休業中の居場所づくり～



～放課後子ども教室の実施～

放課後子ども教室

- ◆地域住民の参画を得て、放課後等に行う学習や体験・交流といった様々な活動。

家庭教育支援活動

- ◆家庭教育について、保護者が学び合う機会づくり等。

地域未来塾

- ◆中学生等を対象に、教員OBや高校生・大学生などの地域住民の協力によって行う学習支援活動。

【 地域学校協働活動推進員の活躍 】

地域学校協働活動を進めていくにあたり、地域と学校の連絡調整や活動の企画や運営等をその中心として進める役割を担うのが地域学校協働活動推進員です。

令和7年度は名張市で「地域学校協働活動推進員」が新たに委嘱され、推進員の研修会を開催し、地域間の取組について情報共有したり、思いや悩みを交流したりすることで、今後の取組がより充実するよう学びを深めました。

今後も子どもの学びと育ちを支え、子どもが地域貢献できる場をつくる地域学校協働活動をさらに進めていきます。



～地域学校協働活動推進員研修会～



～地域学校協働活動ハンドブック～（令和7年5月作成）



名張版コミュニティ・スクールの取組

名張小学校

Ⅰ. 学校運営協議会の開催

【第Ⅰ回】学校運営協議会〈令和7年6月13日（金）14時～15時30分〉

- ① 会長・副会長の選出と委嘱状交付
- ② 学校運営協議会組織について
 - ・今年度もオブザーバー4名にも参加いただき、部会制ではなく全員で協議していくことを確認しました。
- ③ 学校経営計画、学校教育計画、年間行事予定の承認
- ④ コミュニティ・スクール推進計画について
 - ・令和6年度の実践報告書を元に、本年度の推進について協議しました。
 - ・子どもへの支援、学校環境の整備などについて学校支援ボランティアや地域の協力を得ていくこととなりました。
- ⑤ 「名小版なばり学」について
 - ・「名小版なばり学」の取組と地域行事等との関係が一目でわかる「令和7年度 名小CSカレンダー」（下図参照）をもとに、「名小版なばり学」推進への地域から協力いただくことや、本年度のコミュニティ・スクール推進について共通理解を図りました。
- ⑥ 児童代表と委員との交流
 - ・地域の公園整備や、イベント後の環境問題、児童会活動活性化のためのあいさつ運動への支援のお願いなどについて意見交換を行いました。

令和7年度 名張小学校『名小版なばり学』～なばりのええとこ見つけ隊～ 名小CSカレンダー											
各学年「なばりのええとこ見つけ隊」は、地域のボランティアや地域のナースティチャー、地域の商店等と連携 ※各学年計画は、学年の進行につれて変更あり											
月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
学年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2
1	きせつともだち(全31時間)										
	公園 町のよう		公園 橋本川、おひがで、おひがし		公園 名張川、おひがで、おひがし		公園 名張川、おひがで、おひがし、おひが				

【第2回】学校運営協議会〈令和7年10月31日（金）14時～15時50分〉

- ① 学校運営の状況について
 - ・現在学校の抱えている課題について共有しました。地域でも、児童への声かけや見守りを行っていくよう共通理解しました。
- ② 全国学力・学習状況調査結果より
 - ・令和7年度の名張小学校の調査結果についての説明の後、今後の学校の取組について共有しました。
- ③ 「名小版なばり学」の進捗状況について
 - ・「名小CSカレンダー」をもとに、今年度の「名小版なばり学」の進捗状況を共有しました。
- ④ 令和8年度の行事予定について
 - ・令和7年度に変更した、5月の運動会、9月の修学旅行、野外活動日帰り等について、次年度も同様に行うことについて説明、共有しました。
- ⑤ 児童代表と委員との交流
 - ・名張小学校をより良くするための願いをもとに、委員の皆さんと交流しました。「遊具を増設してほしい」や「カーテンの破れやロッカーの狭さなど教室環境を良くしてほしい」「あいさつ運動の衣装が欲しい」などについて、今後につながる交流ができました。
- ⑥ その他
 - ・PTA活動について、学級委員選出についての課題を共有し、学級委員を希望制とする案について意見をいただきました。

【第3回】学校運営協議会〈令和8年2月26日（木）18時30分～19時30分〉

- ① 本年度の総括
 - ・六年生を送る会に学校運営協議会委員や学校ボランティアを招待し、参観後、参観シートに記入いただき、意見をいただきました。
 - ・学校アンケートを資料に学校評価について協議いただき、「学校評価書」に反映しました。
- ② 次年度に向けて
 - ・学校課題について共有し、その解決策について協議しました。



6年生児童と委員との交流

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1)【学校運営への参画】

- ① 学校経営計画等の承認をいただくとともに、学校経営の方向性について、情報共有を行い、コミュニティ・スクールの推進に係り地域と一体となっていく取組について、ともに考えています。
- ② 「名小版なばり学」の学習を通しての名張を愛する児童の育成について、学校・地域・保護者が協働して行う取組について議論しています。
- ③ 学校評価について協議し、「学校評価書」としてまとめる予定です。

(2)【学校支援の充実】

登下校の見守り、「名小版なばり学」におけるゲストティーチャー、校区探検等の付き添い、家庭科等の教科の支援、クラブ活動の指導、読み聞かせ、学校行事支援、環境整備等でボランティア活動など、多くの学校支援を実施していただきました。「名小版なばり学」で出会った方々や、ゲストティーチャーから考え方や生き方を学ぶことは、キャリア教育のよい機会となっています。

また、学校運営協議会の意見をもとに昨年度より立ち上げた不登校傾向児童や、学習時の児童支援のための「よりそいボランティア」を、本年度も継続して実施していただいています。



登下校の見守り



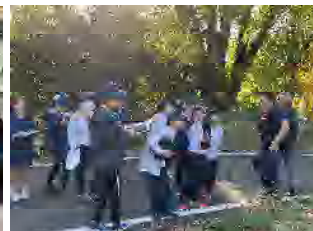
ゲストティーチャー



本の読み聞かせ



出前授業



クラブ活動



校区探検付き添い

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 「名小版なばり学」において、児童が地域に出かけ、地域を学び、地域で学ぶ姿を地域の方々に見ていただくことが、地域をよりよくしていこうとしている方々の力になればと考えています。
- ② 「名小版なばり学」における学習の成果として「なばり子ども食堂」や「名張のせっかくグルメ」の紹介をしたり、地域の課題について考えたことを「バリバリ集会」などで発信したりしていく取組が、名張の活性化の一翼を担えればと考えています。
- ③ 地域に協力して名張の秋祭りへの児童参加を呼び掛けました。名張学園祭では、5、6年生の有志が参加し、学習の一端を披露することで、学園祭を盛りあげることに貢献できました。総合福祉センターふれあいにて、4年生がお年寄りとふれあったり、学習成果を披露したりすることで、地域の方との交流を深めました。



みこしを担ぐ児童



ふれあいでの交流

3. 成果と課題

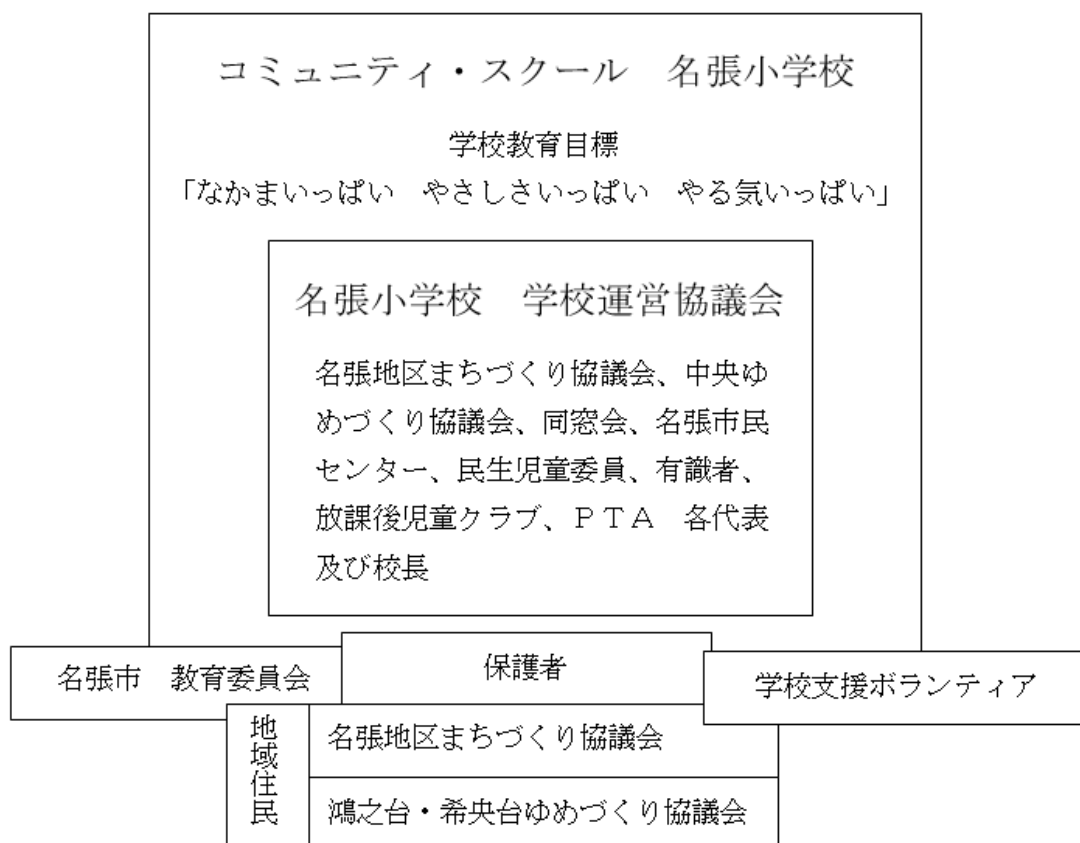
【成果】

- ◇「名小版なばり学」において、全校児童が地域に出向いて学習することにより、これまでに引き続いて地域の方々と触れ合う機会が増えています。また、学校の取組を支援して下さる方も増え、より一層地域と学校の一体感が生まれるように発信していきたいと考えています。
- ◇運営協議会に児童が参加し、委員の皆さんと直接話をさせていただいたことで児童にもいい影響があったと同時に、委員の皆さんにも、子どもの気持ちを知ることができたと好評であったことから、今後も方法を工夫しながら継続していきたいと考えています。
- ◇ボランティアの方々に、様々な場面で協力いただけたことで、子どもたちの学びの成果につながりました。また、不登校傾向児童の対応や、教科や「名小版なばり学」の校外学習では、安全・安心な活動を行うことができ、教職員の負担軽減にもつながりました。
- ◇名張秋祭りや名張学園祭への参加で、子どもたちのよさやがんばりを地域に広く発信することができました。

【課題】

- ◆学校が行っている教育活動の地域への発信方法を工夫していくことで、地域への浸透を図り、コミュニティ・スクールとしての位置づけを確かなものにしていく必要があります。今年は、「名小版なばり学」に係る児童の発表会「バリバリ集会」の参観に加えて、「市指定研究発表会」への参加、「六年生を送る会」への参加を案内しましたが、さらに工夫していきたいと考えています。
- ◆地域貢献の場づくりについては、地域の理解を得るとともに、教員の負担増にならないようにすることも考え、行っていく必要があります。
- ◆「よりそいボランティア懇談会」や「下校サポート懇談会」を開催し、現状や課題について共有しました。ボランティアに関しては、協力いただける方を増やしていくことを考えるとともに、協力いただいている方のご意見を聴取し、後継者のことも視野に入れた運営をしていく必要があります。

・学校運営協議会の組織図



※図の重なりは、連携・協働を表しています。

蔵持小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和7年5月23日(金) 13時45分～15時〉

- ① 授業参観
- ② 委嘱状交付及び会長・副会長選出
- ③ 令和7年度学校運営について提案及び承認
- ④ 「学校・地域 協働活動年間計画」の確認及び今後の活動方針確認
- ⑤ 情報交換

【第2回】学校運営協議会〈令和7年11月5日(水) 13時30分～16時30分〉

- ① 授業参観
- ② 学校評価アンケート結果について情報共有
- ③ 全国学力・学習状況調査の結果と分析について情報共有
- ④ 委員と教職員の懇談（熟議）

【第3回】学校運営協議会〈令和8年2月10日(火) 14時～15時30分〉

- ① 本年度の学校運営の成果と課題について確認
- ② 令和7年度学校評価書について提案
- ③ 教職員との懇談で確認した取組の実践について報告
- ④ 次年度の学校運営協議会について確認
 - ・「学校・地域 協働活動年間計画」の修正
 - ・名張市指定研究発表への支援について学校より依頼



学校運営協議会

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1) 【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観、学校運営（基本方針等）の承認。
- ② 教職員や6年生児童との懇談を通して児童の思いや成長の様子を確認し、今後の取組や支援について協議。
- ③ 年度ごとの児童支援に係る「学校・地域 協働活動年間計画」の検討と確認。
- ④ 児童・保護者・教職員アンケート結果及び全国学力・学習状況調査等の結果からみえてきた課題の共有と今後の取組について協議。
- ⑤ 学校評価について協議、「学校評価書」としてまとめ、確認。



教職員との懇談：「蔵持小学校において、目指す児童像の育成をどのように進めるか」KJ法で協議

(2)【学校支援の充実】

①学習支援

「学校・地域協働活動年間計画」に基づき、米作りの体験授業(田植え・稲刈り)、さつまいも作り、地域の施設見学、地域の歴史学習、防災学習など、まちづくり委員会を中心に地域住民や学校生活支援ボランティアから計画的な学習支援を受ける。また、定期的に図書ボランティアによる「読み聞かせ」を実施。

②交通安全

学校生活支援ボランティアを中心に日々の児童の登下校の見守りや名張警察、地域の「見守り隊」の方々と連携し全学年対象の「交通安全教室」を開催。

③環境整備

学校運営協議会委員、地域老人会(寿会)及び地域ボランティアがPTA環境整備作業へ参加し、PTA会員と共に除草作業を実施。また、月に一度、ボランティアとPTA会員有志による運動場の除草作業も実施。校舎内は、図書ボランティアによる定期的な環境整備や「図書室前の季節の飾り」を実施。

④居場所づくり

蔵持地区市民センターにおいて、夏休みや冬休みなどの自習室の開放や工作講座の実施など、長期休業中における子どもの「居場所づくり」の協力を依頼。また昨年度より、市民センター主催の子ども向けイベントが開催され、多くの児童が参加。校内では、学校運営協議会共催で「夏の図書館開放」を実施。



さつまいも掘り



獅子神楽の実演



稲刈り

(3)【地域貢献の場づくり】

- ①「蔵持市民センター祭」展示会に児童の絵画等の作品を出品するとともに「センター祭」発表会(地域文化祭)を本校会場にて実施。

本校全児童が参加し、高学年の合唱披露や、会場内での全員合唱に参加。

- ②蔵持消防団及び蔵持まちづくり委員会防災部会主催の「地域防災教室」に4年生児童が参加。名張市総合防災訓練にも蔵持消防団との搬送訓練・防災グッズづくりを実施。

- ③蔵持市民センター主催の「高齢者学級」に1年生児童が参加し、昔遊びの発表や昔の暮らしについての質問やゲーム等による高齢者との交流。

- ④蔵持地区まちづくり委員会、緑が丘コミュニティバス運営協議会、三重交通、名張市都市計画室による「バスの乗り方教室」に2年生児童が参加。

- ⑤蔵持獅子神楽保存会による「蔵持獅子神楽」を3年生児童が鑑賞。本年度は、保存会に参加している本校児童が「子ども天狗」の舞を披露することができなかったが、次年度は全校児童で鑑賞予定。

- ⑥児童どうしのあいさつ運動の成果を校外に広げる提案を児童運営委員会から発信。自らあいさつできる児童が増加。

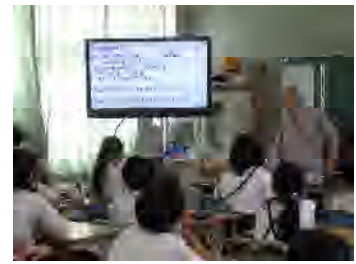
- ⑦登下校や環境整備、学習支援や施設見学等でお世話になったボランティアやまちづくり委員会等の方々に対して感謝の意を伝える、「六年生を送る会」の最初に感謝状を渡す会を実施。



蔵持市民センターまちたんけん



河川防災センター見学防災学習



蔵持の歴史学習

3. 成果と課題

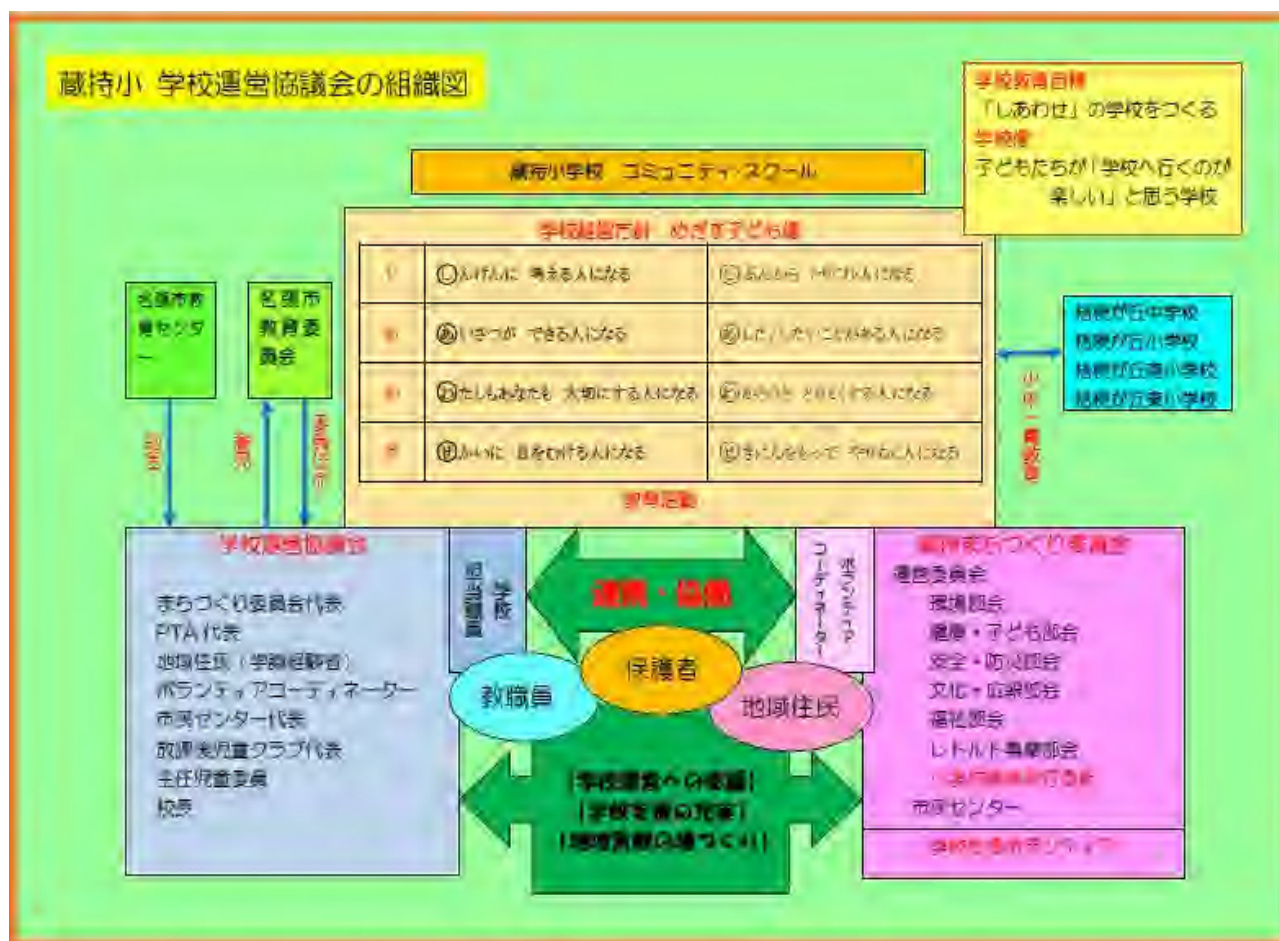
【成果】

- ◇ 学校運営について、幅広い視点での理解ある意見や示唆をいただけたことで、子どもたちの「学び」と「育ち」に係る連携・協働した取組を進めることができた。
- ◇ 令和7年度「学校・地域協働活動年間計画」に基づき、計画的な取組を実施することができた。地域からの活動支援を学校運営協議会の活動として位置づけたことで、蔵持地区まちづくり委員会を中心に関わりやすくなり、支援の充実が感じられた。令和5年度より蔵持地区まちづくり委員会のなかに「小学校事業実行委員」が設置されて3年目となるが、地域からも見通しをもった主体的・計画的な支援をいただくことができ、充実感・達成感を得ることができた。
- ◇ 蔵持市民センター祭（地域文化祭）を本校施設で実施し、土曜日を授業日として全児童が参加して3年目となったが、本年度も盛況であり、2日間でのべ700人を超える参加者となった（受付を通らず入った人がかなり多く、実際の人数はもっと多かったとのこと）。また、「蔵持獅子神楽」保存会が昨年度より女子児童の「子ども天狗」参加を許容したため、本年度は4年生で数名の女子児童の加入があった。練習風景を教職員が見学して応援する場面もあり、児童が地域行事に積極的に参加する風土づくりに貢献できた。さらに、蔵持地区まちづくり委員会主催の「ウォークラリー大会」等への参加についても、学校を通じて参加募集や案内を行うことで、児童やその家族の参加が増加した。長期休業中や週休日の蔵持市民センターによる子ども向けイベントも工夫して開催され、年間を通じて多くの児童が参加した。地域行事に学校が積極的に関わっていくことで、地域住民の参加人数も増加し、児童との交流や地域住民相互の交流が増えた。学校を中心に据えて児童の育成を共通目的としながら、地域住民相互の結びつきを深める「スクール・コミュニティ」の実現に一歩前進することができた。
- ◇ 本年度は学校運営協議会委員と教職員との懇談（熟議）を行い、子どもたちの思いや将来への夢などを知り、学校目標にある「目指す子ども像」を共通理解して、その実現に向けての取組を具体的に考えた。支援の意義とやりがいを感じていただき、次年度への取組につなげることができた。
- ◇ 児童運営委員会の発信により、「あいさつ運動」が昨年度より盛んになった。家や地域で「自分からあいさつ」できる児童が増え、喜びの声が保護者・地域より多く届いた。

【課題】

- ◆ 学校生活支援ボランティアの高齢化等に対応するため、まちづくり委員会や各自治会、老人会など、「個々の支援」から「組織からの支援」への転換を進め、体制が整ってきているが、人材確保や人材発掘のための仕組みの構築を今後も図っていく必要がある。
- ◆ 子どもの主体性や社会性を育むための具体的な方策について、さらに協議を進め、熟議の内容や方法等、より効果的で深まるよう工夫していく必要がある。
- ◆ 今後も地域住民と児童がふれあう機会を設定し、「次代を担う人間の育成」を中心に据えた地域住民相互の結びつきが深まるよう、学校から地域へ貢献する場を模索していきたいと考える。

4. 学校運営協議会の組織図



薦原小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和7年6月3日（火）9時40分～11時30分〉

- ① 授業参観
- ② 委嘱状交付、委員の紹介、会長・副会長の選出
- ③ 学校運営の基本方針・学校、子どもの実態と課題等について
- ④ 薦原小学校コミュニティ・スクール組織図とCSカレンダー等を使って本年度の活動確認
- ⑤ 熟議 テーマ：「3部会の活動を充実させよう」

【第2回】学校運営協議会〈令和7年7月30日（水）15時～16時〉

- ① 学校運営協議会委員と教職員との懇談会
 - ・テーマ：「薦原ならではの活動をさらに充実させよう」
 - ・内容：3つのグループに分かれてテーマにそった協議を行いました。1学期の活動を振り返り、それぞれの活動を通して子どもたちにどのような力がついたのか、さらにどのような力をつけていきたいかについて話し合いました。話し合ったことをもとに、2学期以降の活動に活かしていくことを全体で確認しました。

【第3回】学校運営協議会〈令和7年10月23日（木）13時20分～15時〉

- ① 5年音楽会リハーサル参観
- ② 児童アンケート及び全国学力・学習状況調査の結果について
- ③ 熟議 テーマ：「ありがたいの学校づくりをめざし、各部会の活動を具体化させよう」

【第4回】学校運営協議会〈令和8年2月20日（金）9時40分～11時30分〉

- ① 授業参観
- ② 本年度の学校運営の成果と課題について
- ③ 「令和7年度の学校評価書」について
- ④ 来年度の学校運営について
- ⑤ 熟議 テーマ：「本年度の活動を振り返り、来年度の活動をよりよいものにしていこう」

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観後、児童の様子について交流しました。
- ② 北中学校区小中一貫教育グランドデザインを示し、8部会の取組について周知を図りました。
- ③ 「薦原ならではの活動」をさらに充実させるために、学校運営協議会委員と全教職員で熟議を行いました。子どもたちの主体性を大事にした取組を進めていくことを確認しました。
- ④ 児童・保護者アンケートや全国学力・学習状況調査結果からみえてきた課題を共有し、その解決策について協議しました。
- ⑤ 読書量についての課題があり、学校運営協議会で協議しました。その課題を解決するための取組として、給食時の放送で、読書ボランティアの方に様々なジャンルの本の紹介をしていただいています。児童は放送をととても楽しみにしています。
- ⑥ 学校評価について協議し、「学校評価書」としてまとめました。



③学校運営協議会委員と全教職員との熟議



④アンケート結果からの課題解決協議

(2) 【学校支援の充実】

- ① 登下校の見守り活動
- ② 毎週火曜日の朝、「わくわくブックタイム」として全学年での読み聞かせ
- ③ 給食時の放送「お昼のブックトーク」
- ④ 図書室の本の修繕
- ⑤ 運動場や校舎周辺の草刈り
- ⑥ 地域学習の支援
 - 1年…学校林探検、昔遊び 2年…野菜作り、サツマイモの苗植えと焼き芋大会
 - 3年…ニッポンハナダカバチの学習、しいたけ菌打ち 4年…ギフチョウの学習
 - 5年…田植え、案山子づくり、稲刈り、おにぎり作り
 - 6年…薦原小の過去・未来（創立150周年を記念しての学校の歴史学習）
- ⑦ 学習支援（年7回のグングン先生、家庭科のミシン・調理実習、プール見守り 等）
- ⑧ 学校行事の支援（体カテスト、コモコモプチ運動会 等）



②読み聞かせ



⑤運動場などの草刈り



⑥昔あそび



⑥稲刈り



⑦グングン先生



⑧プチ運動会支援

(3) 【地域貢献の場づくり】

- ① 「ギフチョウ学習会」では、4年生が、ギフチョウを卵から羽化するまで育ててきたことや、自分たちが地域の一員としてギフチョウを守っていきたいという思いを発信することができました。
- ② 「創立150周年記念式典」では、5年生がオープニングとして合唱を披露し、6年生が薦原小の歴史と未来に向けての展望についての発表を「薦原小の過去・未来」と題して、参加された地域や保護者の前で紹介しました。また、式典の一部の司会を6年生が行いました。

- ③ 「コモコモふれあい祭り」では、出店や獅子舞などの地域行事にたくさんの児童が参加し、楽しむことができました。
- ④ 薦原まちの保健室と協働し、4年生が認知症サポーター養成講座を体験しました。市民センターと連携したさまざまなイベントに、子どもたちが参加しました
- ⑤ 防災訓練では、5、6年生が地域の方と一緒に避難所設営体験や重量物からの避難訓練を行いました。災害時には、自分の身を守るだけでなく、地域の一員として何ができるかについて考えることができました。また、「防災キャンプ」に多数の児童が参加し、災害への意識を高めることができました。
- ⑥ 3月に「ありがとうの会」を実施しました。1年間お世話になった地域の方に手紙やプレゼントを渡し、感謝の気持ちを伝えました。



①ギフチョウ学習会



②創立150周年記念式典



⑤重量物からの避難訓練

3. 成果と課題

【成果】

- ◇学校運営部、学校支援部、地域協働部の部会長が中心となり、「子どもたちの自己肯定感を高める」ことを意識し熟議を行ってきました。それぞれの取組の中で、子どもたちが「誰かの役に立っている」と感じられる場面をつくることができました。
- ◇本年度、創立150周年を迎え、地域と連携しながら、子どもたちが記念行事に参画できました。6年生が式典で発表した「薦原小学校の過去・未来」を見て、子どもたちから「薦原小の歴史を知りもっと薦原小が好きになった」という声が聞かれました。
- ◇「寺子屋こもはら」「防災キャンプ」は、子どもたちがとても楽しみにしている活動です。地域の方や保護者の方の協力も大きく、子どもたちの自主性や主体性を育むような内容となっています。本年度の防災キャンプでは、卒業生である北中学校生徒が参加してくれ、地域の一員としての役割を担うことができました。
- ◇地域の方とふれ合う機会がたくさんあり、子どもたちとのつながりも深まっています。地域の方からの励ましや温かさが、子どもたちの自己有用感を高めることにつながっています。
- ◇第2回学校運営協議会で、学校運営協議会委員の皆さんと全教職員との懇談会を行いました。夏期休業日にゆっくり時間をとり、学校運営協議会委員の皆さんと教職員が顔を合わせて、日頃の感謝や今後の支援について話し合うことができ、2学期以降の取組につなげることができました。

【課題】

- ◆ 学校運営協議会に児童が参画する場を設定するなど、地域に貢献できる場をさらに広げていく必要があります。
- ◆ 本年度は、雨天のため「地区民運動会」が中止となり、酷暑のため「あゆつかみ」が中止となってしまいました。子どもたちが楽しみにしている行事を行うには、地域と保護者の方の協力が不可欠です。今後、さらに充実させるためには、学校運営協議会とPTA活動との強い連携が必要です。

4. 学校運営協議会の組織図

薦原小学校コミュニティ・スクール

学校教育目標

持続可能な未来を拓く「ありがとう」の学校をつくる

めざす子ども像

- ① あ：「ありがとう」や「あいさつ」が進んで言え、基本的な生活習慣が身についた子
- ② り：りこうな子〈わかる楽しさ・学ぶ喜びを実感できる子〉
- ③ が：がちりつながる子〈子どもどうしのつながりや地域とのつながりを大切にする子〉
- ④ と：友だちも自分も大切にする子 ⑤ う：運動が好きな子

承認
評価
改善

薦原小学校学校運営協議会

学校運営部

めざす子どもの姿の共有
 ○学校運営協議会
 ○教育課程・学校評価等
 ○学校運営への参画
 ○情報共有
 ○創立150周年記念事業

学校支援部

地域のネットワークを生かした学校支援
 ○学習支援 G
 ・グングン先生
 ・地域学習の支援
 ・教科学習の支援
 ・学校行事の支援
 ・寺子屋こもはら(小学生版)
 ○学校安全 G
 ・登下校の見守り
 ・校内安全サポート
 ○学校図書 G
 ・読み聞かせ
 ・図書室環境整備

地域協働部

地域と子どもが共に育つ場づくり
 ○薦原地域づくり委員会との連携
 ・ギフチョウ保護
 ・総合防災訓練
 ・コモコモふれあい祭り
 ・鮎つかみ
 ・運動会
 ・防災キャンプ
 ・子どもを守る家
 ・学校林整備
 ・さつまいもほり
 ・環境整備作業 等

連携・協働

学校
教職員

保護者

地域住民

薦原地域づくり委員会

比奈知小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和7年5月30日（金）9時45分～12時〉

- ① 授業参観
- ② 委嘱状交付
- ③ 会長・副会長の選出と学校運営協議会組織について
- ④ 学校経営計画・教育課程、教育活動、本校の現状等について
- ⑤ 今後の学校運営協議会について
熟議「学校支援の取組を充実するには」

【第2回】学校運営協議会〈令和7年7月25日（金）9時30分～11時30分〉

- ① 学校及び児童の様子について
- ② 学校アンケート（児童）結果について
- ③ 全国学力・学習状況調査結果について
- ④ 比奈知小学校創立150周年について
- ⑤ 2学期の主な行事について
- ⑥ 名張市総合防災訓練について
- ⑦ 「人権が尊重される三重」をつくる子どもサミット事業について
- ⑧ 教職員との懇談

【第3回】学校運営協議会〈令和7年10月17日（金）14時30分～15時15分〉

- ① 学校及び児童の様子について
- ② 比奈知小学校創立150周年について
- ③ 「人権が尊重される三重」をつくる子どもサミット事業及び名張中学校区人権推進協議会について
- ④ 今後の2学期の主な行事について
- ⑤ 児童の様子について
- ⑥ 全国学力・学習状況調査について
- ⑦ 名張市総合防災訓練について

【第4回】学校運営協議会〈令和8年2月20日（金）9時30分～12時〉

- ① 学校評価について
- ② 本年度の学校運営の成果と課題について
- ③ 「令和7年度の学校評価書」について
- ④ 来年度の学校運営について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 全国学力・学習状況調査、学習や生活についてのアンケート、CSカレンダーをもとに熟議を行いました。
- ② 小中一貫教育のグランドデザインをもとにして、今年度の取組について周知を図りました。
- ③ 学校から出された「困り感」を基に、学校運営協議会や地域としてどのような取組ができるのか、協議いただきました。
- ④ 1学期の子ども様子から、気付いたことや子どもの成長を感じたことについて、本校教職員と学校運営協議会委員の方と懇談会をもちました。



④懇談会

- ⑤ 学校評価についてご意見をいただき、「学校運営協議会評価書」としてまとめました。

(2)【学校支援の充実】

- ① 富貴の会、ひなち地域ゆめづくり委員会及び個人参加のボランティアさんによって、毎週火曜日・木曜日の黒田道、比奈知市民センター前（毎週火曜日）及び、富貴ヶ丘団地内での登校支援が実施されています。
- ② 毎週水曜日の朝、ボランティアさんによる読み聞かせを行っていただいています。
- ③ 毎週火曜日、ボランティアさんが図書室の本の整理や修繕を行い、活動終了後、1年生と一緒に歩いて見守りをいただいています。
- ④ 草刈りボランティアさんとPTAによる共同で、学校の環境整備作業が年間2回実施されています。
- ⑤ 学期の最初と最後の日における青色パトロール(ひなち地域ゆめづくり委員会安全防犯防災部会)
- ⑥ 多くの場面で学習支援（米づくり、野菜づくり、焼き芋体験）が実施されています。
- ⑦ 消防団によるプール清掃支援



①登校支援



②読み聞かせ



④環境整備



⑥学習支援（田植え）



⑥学習支援（稲刈り）



⑥学習支援（焼き芋体験）

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 1・2・3年生が円明寺や比奈知文化センターを訪問しました。1年生が地域の方や文化センターの方々に昔遊びを教えていただき、交流を深めることができました。また、教えていただいた昔遊びを練習し、比奈知保育園の5歳児に披露し交流の場を持つことができました。
- ② 2年生が、なばり学の学習として長瀬・滝之原地区を訪問し、それぞれの地域の方からお話を聞き、学習しました。学習後、お礼の手紙を書いて届けたことを受けて、「嬉しいです」というお言葉と励ましのお言葉を地域の方からいただきました。
- ③ 総合防災訓練の際、各一時避難場所において6年生児童が人数点呼・確認役として活躍し、地域の方と協働して訓練を進めることができました。
- ④ 「友遊まつり」が、PTA有志とひなち地域ゆめづくり委員会の共催で去年より再開し、今年も多く子どもたちが参加しました。
- ⑤ 比奈知地区文化祭に児童の作品を出展し、地域の方々にも観ていただきました。



①地域とのふれあい



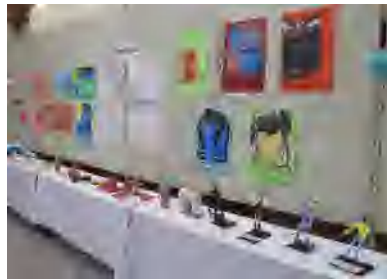
②地域学習（なばり学）



③防災訓練



④友遊まつり



⑤比奈知地区文化祭



3. 成果と課題

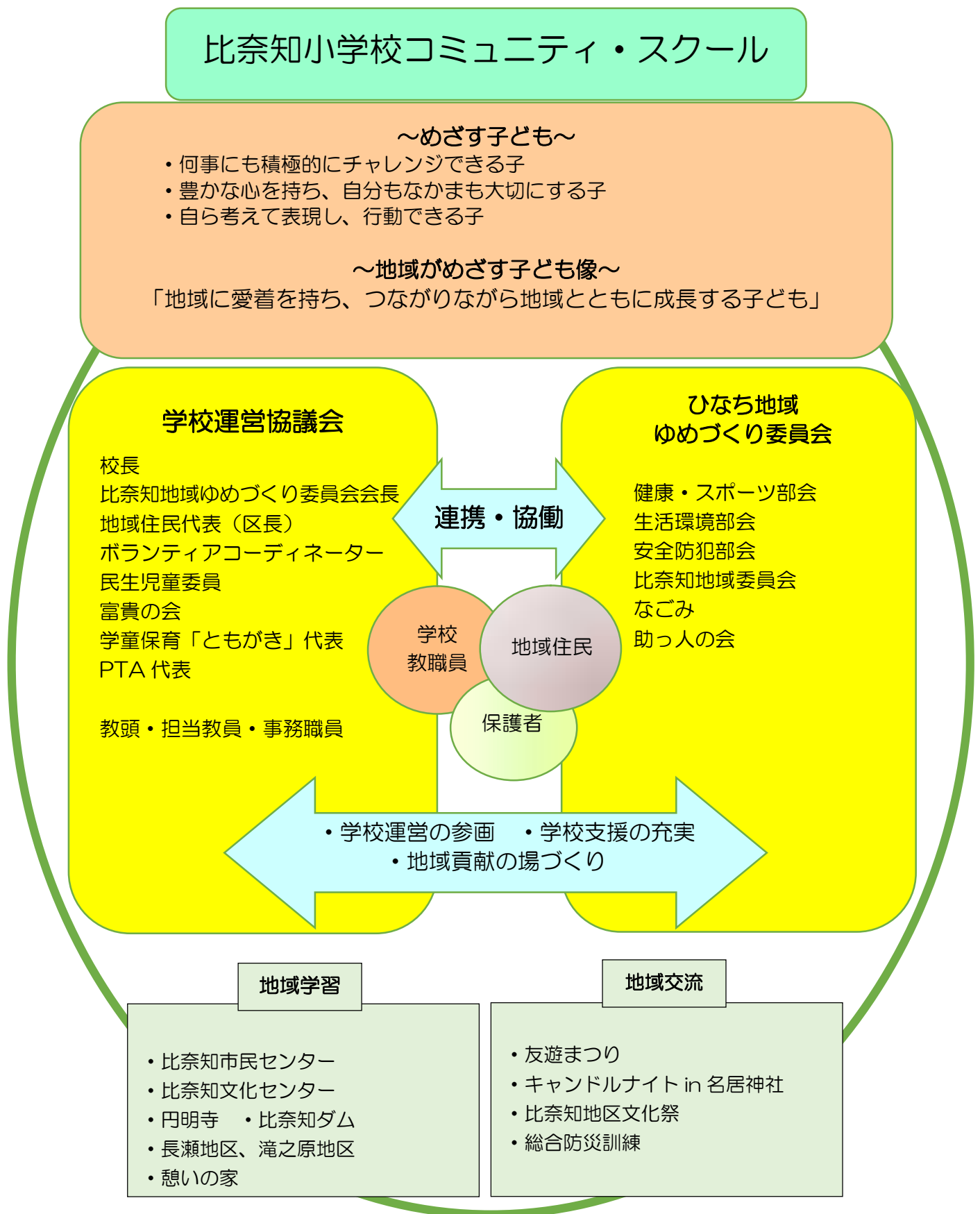
【成果】

- ◇授業参観により、子どもたちの姿を共有することができました。
- ◇学校経営方針や児童・学校の状況等について、熟議を通しながら理解を深め合い、学校経営や子どもたちの育成について多様な視点からご意見等いただきました。
- ◇今年の「友遊まつり」は、比奈知小学校の卒業生を含め、7名の学生ボランティアもスタッフとして参加していただきました。ひなち地域ゆめづくり委員会や有志保護者の協力を得ながら実施され、当日は保護者を含めて約200名の参加者がありました。
- ◇草刈りボランティアの募集を行ったところ、滝之原地区から新たに4名の応募がありました。今後も、様々な機会を通じて、協力の呼びかけを行っていきたいと考えています。

【課題】

- ◆コミュニティ・スクールの取組の充実には、学校と地域との連絡調整を担っていただく方が欠かせません。比奈知小学校では教頭が多くの場面でその役割を担っています。そうした役割を、今後、どのようにして地域の方と共に進めていくかが課題です。
- ◆多くの学校に共通する課題だと思いますが、支援していただく方が限られてきており、学校生活支援ボランティアの方も高齢化が進んでいます。学校運営協議会や地域の会議などの場において、困り感を具体的に伝えていく必要があると感じています。
- ◆昨年度より立ち上がった「ひだまり」（校内教育支援センター）ですが、限られた日時でのみの開設であり、ニーズとのずれがあります。COCOLOプランにもある通り、その必要性は高いですが、その担い手が不足しています。

4. 学校運営協議会の組織図



美旗小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和7年5月28日（水）9時40分～11時00分〉

- ① 委嘱状の交付、委員自己紹介
- ② 授業参観1限目
- ③ 教職員との意見交流（アイスブレイク、グループで意見交流、全体での意見交流）
- ④ 会長・副会長の選出
- ⑤ 協議（学校経営計画について、今年度の取組について）

【第2回】学校運営協議会〈令和7年11月25日（火）9時40分～11時30分〉

- ① 授業参観2限目
- ② 協議「子どもたちの実態や現状から見えてくる課題解決において」
 - 1 全国学力・学習状況調査の児童質問紙から見えてきた3つの課題について
 - ・家庭学習の時間が少ない
 - ・自己有用感等が低い
 - ・地域とのかかわりを実感できない
 - 2 地域の中で子どもを育てる、見守るためにできることについて

【第3回】学校運営協議会〈令和8年2月18日（水）10時～12時〉

- ① 本年度の学校運営の成果と課題について
- ② 第2回における協議の成果や課題について
- ③ 令和7年度学校運営協議会評価書について
- ④ 令和8年度の学校運営について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観の後、授業改善に向けて意見をいただきました。
- ② 学力向上に向けて、全国学力・学習状況調査や児童質問紙、生活アンケートから見えてきた「美旗小児童の生活習慣の課題」を共有し、解決のために地域・保護者・学校のできることについて協議を行いました。
- ③ 学校評価について協議し、「学校評価書」としてまとめる予定です。



授業参観のようす



教職員との意見交流のようす

(2)【学校支援の充実】

- ① 新入生が下校に慣れるまでの間、地域ボランティアの方に一緒に下校していただきました。その後も下校時に車による巡回をしていただきました。夏は下校途中の熱中症が心配でしたが、子どもたちに声掛けしていただき、安全に下校することができました。
- ② プール水泳の授業のとき、「プール見守り隊」として、プールサイドから子どもたちの授業を見守っていただきました。熱中症や溺水などの事故が心配されるプール授業ですが、多くの目で見守ることができ、事故なく安全に授業を行うことができました。
- ③ 毎週木曜日の朝、低学年を対象に読み聞かせを行っていただき、子どもが本に触れる機会を増やしていただくことができました。新しい知識やこれまで関心をもたなかった分野にも触れる機会となりました。
- ④ 図書室の蔵書管理や掲示物等による環境整備の支援をしていただきました。
- ⑤ トイレピカピカサポーター（地域ボランティア）によって、每学期最終日に児童用トイレの清掃をしていただきました。
- ⑥ 「さつまいも掘り」や「アタックみはた（クイズ大会）」など、子どもたちが楽しみながら、地域について学んだり誇りに思えるような行事を計画していただきました。



プール見守り隊



本の読み聞かせ



図書室の掲示物



トイレピカピカサポーター



さつまいも掘り



アタックみはた

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 地域の方々にお世話になっていることを伝える動画を作成し、デジタルサイネージ上で表示し、「美旗の地域には、美旗に住む子どもたちのために、たくさんのことをしてくださっている方がいる」ということを子どもたちや保護者に知ってもらいました。
- ② 通学路安全キャンペーンとして、地域の方や保護者とともに危険個所の点検とごみ拾いを行いました。
- ③ 夏休みに図書室を地域に開放し、利用していただきました。そのときに、読み聞かせボランティアの方々にもお手伝いいただき、本の読み聞かせもしていただきました。
- ③ 敬老の日に際し、地域にお住まいのご年配の方々に向けて、児童会がメッセージ動画を作成し、

各自治会で紹介していただきました。

- ④ 名張市総合防災訓練の日には、地域の消防団とまちづくり協議会で防災教室をしていただきました。それを受けて、午後からは各分団で下校しながら各自の一時避難所の確認や通学路の危険箇所を確認を行いました。
- ⑤ 美旗秋祭りにてMJクラブ（美旗ジュニアクラブ）として運営に参加し、出店を企画し、的あてやポップコーンなどのブースを担当しました。
- ⑥ 1月のどんと祭りにたくさんの児童が参加し、地域の文化について知ることができました。



通学路安全キャンペーン



夏季休業中の図書室開放



名張市総合防災訓練

3. 成果と課題

【成果】

- ◇ 学校運営協議会委員から、前向きな意見を数多くいただくことができた。特に、熱中症対策や交通事故防止、学校の防犯に関する懸念について具体的な意見が寄せられ、それらが実際の取組につながる場面も多かった。その結果、子どもたちの安全・安心の確保につながっている。
- ◇ 学校が地域から支援を受けるだけでなく、子どもたち自身が地域の一員として活動する場面が増えてきた。敬老の日の取組やMJクラブ、地域の祭りへの参加などを通して、子どもたちは「参加者」や「お客さん」ではなく、主体的に取組に関わる姿が見られるようになった。
- ◇ 取組を数年にわたり継続してきたことで、内容がよりよいものへと改善されてきた。例年、さつまいも掘りでは、地域の方が午前中いっぱいかけて掘り起こしやつるの処理を行ってくださっていたが、今年度は、実施学年を2学年ごとから3学年ごとに変更し、つるも残した状態で行った。その結果、子どもたちにとっては、より充実した体験活動となり、地域の方の負担軽減にもつながった。
- ◇ 数年来の本校の課題である「自己肯定感の向上」に向けて、まずは子どもたちが自ら計画する機会を設けることの重要性を確認した。「自分たちで計画し、その活動に参加することで、自己肯定感の向上につながるのではないか」という仮説が共有された。具体的な取組は今後検討していく段階であるが、主体的に計画し行動できる子どもの育成や、計画する楽しさ・行動する楽しさを大切にしたい取組を、学校運営協議会として進めていく方向性が確認された。

【課題】

- ◆ 子どもたちの学校以外の居場所づくりを進めていきたいと考えているが、校区が広く、活動場所の設定が難しい状況にある。また、維持管理の面や、保護者にどのように理解を求めていくかといった課題もあり、具体的な取組の実施には至っていない。
- ◆ 地域には多様な人的・物的資源があり、それらを学校のカリキュラムに取り入れていきたいと考えている。しかし、時間的・人的制約なども多く、取組を進めにくい状況がある。継続的な取組としていくためにも、地域との効果的な連携の在り方について、引き続き学校運営協議会で協議していく必要がある。

4. 学校運営協議会の組織図



箕曲小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和7年6月2日（月）13時30分～15時30分〉

- ① 委嘱状交付、委員の紹介、会長・副会長の選出
- ② 授業参観
- ③ 学校運営の基本方針・教育課程・学校、子どもの実態と課題等について
- ④ 年間行事とCSカレンダー等を使って本年度の活動確認
- ⑤ 150周年事業について（熟議）

【第2回】学校運営協議会〈令和7年10月27日（月）13時30分～15時30分〉

- ① 授業参観
- ② 校長より学校の様子について 学力・学習状況調査結果について
- ③ 学校アンケートの考察（児童・保護者）
- ④ 150周年事業について 進捗報告と協議
- ⑤ 教職員との懇談 内容：「学校と地域の関係・協働について」グループ協議と全体交流（熟議）

【第3回】学校運営協議会〈令和8年1月29日（木）13時30分～15時30分〉

- ① 校長より学校の様子について 150周年事業の現状報告
- ② 授業参観
- ③ 児童（5・6年生）との懇談 内容：「箕曲地域をよりよい町にするために」
- ④ 熟議「児童との意見交換を行って」

【第4回】学校運営協議会（令和8年3月6日（金）19時～20時30分）開催

- ① 本年度の学校運営の成果と課題について
- ② 「令和7年度の学校評価書」について
- ③ 次年度の学校運営及び学校運営協議会について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 150周年事業、行事をともに企画しともに運営することができました。150周年関係以外の日常の取組も相談しながら進めることができました。
- ② 「学校と地域の関係・協働」について、協議会委員・教職員が熟議を行いました。
- ③ 学校課題について共有し、その解決策について協議しました。
- ④ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。



150周年事業の様子

(2)【学校支援の充実】

- ① 年間を通して、「はなももクラブ」(放課後児童クラブ)において、児童の現状に即した活動を行っていただきました。
- ② 米作りの際は米作りサポーターの方々に、野菜作り、焼いも、染色、ホタルの学習、親子行事(1、2年昔遊び、3年生リースづくり、4年生かかしづくり、5年生しめ縄づくり、6年生陶芸)の際はボランティアとして地域の方にたくさん来ていただくことができました。
- ③ 150周年に関する各種事業に関し、150周年事業実行委員会を中心とした地域の方々に、行事の実行、防災ベンチ、遊具の設置、図書の実等学校施設の充実、150周年記念式典の実施等の多大な支援をいただくことができました。
- ④ 数多くの地域学習、なばり学の学習で、多大な地域の支援を受けてきました。



②米作りサポーターさんと収穫



④地域の方と昔遊び学習

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 学校運営協議会員と5、6年生児童との懇談会を開き、児童が「地域をよりよくするための提案」を行い、意見交換をする中で実現するための方策を考えました。
- ② 箕曲文化祭の一日を登校日とし、150周年記念式典を組み込んでいただき、盛大に行うことができました。5年生児童が学校田で収穫した米(みのぴかり)を販売したり、文化祭行事を児童が参観したりしました。
- ③ 通学路の清掃活動を実施しました。
- ④ 集会に地域のボランティアの方を招き、感謝を伝えることができました。
- ⑤ 放課後子ども教室の活動場所として、学校の空き教室でダンスを、体育館で卓球教室を行っていただいています。



②みのぴかりの販売



⑤空き教室で放課後子ども教室の活動

3. 成果と課題

【成果】

◇学校行事でもある150周年記念事業、記念の数々の行事、学習を、地域と一体となって進めることができました。特に、本年に向けて組織された150周年事業実行委員会を中心に、どのようなことを行えば児童のためになるか、学校のためになるかを考え、実行することができました。

◇学校の強みや課題を共有し、熟議を行うことができました。幅広い視点での意見や示唆をいただくとともに、実態に応じた活動を行っていただくことで、学校運営がより円滑に進むようになりました。

◇教職員が学校運営協議会に参加することにより、児童の様子や感想を伝えながら熟議を行うことができました。児童の実態を共有することができ、学校・保護者・地域が共に課題解決に向けて意見交換をすることができました。

◇第3回の学校運営協議会に児童も参加し、よりよい箕曲の地域づくりに向けての思いや考えを出し合う熟議を行いました。

【課題】

◆熟議の内容や方法等、より効果的で深まりのあるものにしていきたい。

◆ボランティアの方の高齢化が進んでいる。継続的に支援をいただける人材の確保を図っていきたい。

◆保護者や地域に向けて学校運営協議会の意義や活動内容をさらに発信していきたい。

4. 学校運営協議会の組織図



錦生赤目小学校

Ⅰ. 学校運営協議会の開催

【第Ⅰ回】学校運営協議会〈令和7年6月6日（金）13時30分～16時〉

- ① 委員による各学級の授業参観（第5校時）
- ② 委員の紹介及び会長、副会長の選出
 - ・ 学校運営協議会会則について
 - ・ 委員の紹介（自己紹介）
 - ・ 会長挨拶
- ③ 授業参観 13時45分～
- ④ 議事（議長:会長）
 - （Ⅰ）学校運営協議会推進計画及び組織図について
 - （Ⅱ）令和7年度学校経営計画〈承認事項〉【別冊：教育諸計画】
 - （Ⅲ）熟議「地域学校協働活動のめざす姿を再確認する」
 - ①グループ討議
 - ②発表
 - ③まとめ
 - （Ⅳ）その他
 - ・ 学校との情報共有〈テトル登録〉についてのお願い
 - ・ 報償費の支払いについて

【第Ⅱ回】学校運営協議会〈令和7年7月30日（水）14時～15時30分〉

- ① 委員による各学級の授業参観（第5校時）
- ② 協議
 - （議題）（Ⅰ）熟議：「学校・地域で育みたい子どもの姿と地域学校協働活動について」
 - （学校運営協議会委員と教職員による熟議）
 - ・ グループ討議
 - ・ 発表
 - ・ まとめ

【第Ⅲ回】学校運営協議会〈令和8年2月27日（金）13時30分～15時30分〉

- ① 委員による各学級の授業参観（第5校時）
- ② 協議
 - （議題）（Ⅰ）学校自己評価に基づく学校運営協議会評価書について
 - （Ⅱ）熟議：「子どもたちが参画したい地域行事と将来の地域づくりについて」
 - （学校運営協議会委員と児童会委員による熟議）
 - ・ グループ討議
 - ・ 発表
 - ・ まとめ

【その他】

○人権教育公開授業参観 令和7年11月19日（水）



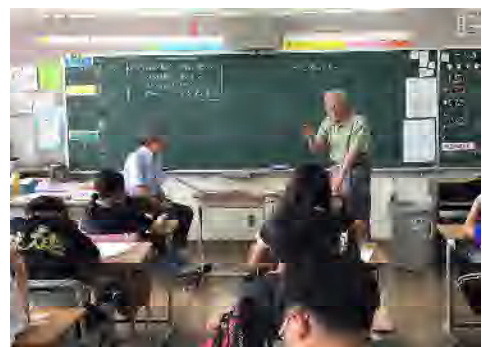
あいさつ運動



低学年 さつまいもの苗うえ



プール清掃



平和学習

(3)【地域貢献の場づくり】＝【地域学校協働活動】

- ① 本校は、以下の活動を【地域学校協働活動】(学校が地域づくり組織と連携・協働して行う活動)として位置付けています。

◇地域学校協働カリキュラム<学校の教育課程内>

◆総合防災訓練◆あかめ夏祭り◆あかめフェスティバル◆錦生地区文化祭◆サマーキャンプ

◆市民センターまつり◆一ノ井解放文化祭◆ニシキッズのびのび(放課後子ども教室)

- ② 【地域学校協働活動】の企画・推進にあたっては、学校運営協議会でめざす姿を共有し、学校の校務分掌の担当が、地域の担当者と連携を取りながら進めています。
- ③ 両地域市民センター祭りに児童の作品を出品し、地域の方々にも観ていただきました。
- ④ あかめフェスティバルにおいては、児童会「まちおこし委員会」が中心となり、スタッフの募集、模擬店の内容決め、当日の運営片付けなどを行いました。子どもたちが主体的にかかわり、楽しんで参加することができました。また、2年生は学校園で栽培したさつまいもと大根を販売しました。



あかめフェスタで活躍するスタッフ



総合防災訓練で消防団員とともに防災学習

【成果】

- 
- た。
。

【課題】

- #### 4. 学校運営協議会の組織図（組織と取組）



桔梗が丘小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和7年5月30日（金）13時30分～15時〉

- ① 学校運営協議会について
 - ・学校運営協議会の役割及び協議会委員の役割についての説明
 - ・学校運営協議会の組織について
- ② 本年度の学校経営方針について
 - ・学校経営計画について
- ③ 今年度の取組について（熟議）
 - ・通学路花いっぱい運動（絆キッズ）
 - ・ボランティア懇談会（5月2日実施）
 - ・おひさま市場への出荷（2年生）
 - ・名張の「すてき」発見（ボランティアさんへのインタビュー：3年生）
 - ・図工科支援（陶芸：5年生）
 - ・地域学校委員会（地域清掃活動・あいさつ運動）
 - ・クラブ支援

【第2回】学校運営協議会〈令和7年10月17日（金）16時～17時〉

＊PTA本部役員 教職員代表が参加しました。

- ① 子どもの様子、状況について
 - ・本年度の取組について
 - ・全国学力・学習状況調査の結果より

② 熟議：

～学校教育活動及びPTA行事と地域ボランティア活動をWin—Winの関係にしていけるために～

【第3回】学校運営協議会〈令和8年2月20日（金）15時～16時30分〉

- ① 3学期の教育活動および学校自己評価書の報告
- ② 令和8年度の取組について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 5月2日（金）に教職員代表が参加してボランティア懇談会を行い、本年度の活動内容について共通理解を図りました。
- ② 学校運営協議会では、授業参観を通して実際に子どもたちの様子を見ていただくとともに、日頃の地域での様子を含め、学校運営や地域の課題について共有し熟議を重ね、解決策についてご意見をいただきました。
- ③ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。

（2）【学校支援の充実】

- ① 登下校見守りボランティアの方々により、安全な登下校となるよう支援していただきました。
- ② 読み聞かせボランティアの活動に長年取り組んでいただいています。図書ボランティア「Mama's あい」のメンバーが、朝の教室での読み聞かせや、業間の図書コーナーでお話会を開催し、子どもたちに本の楽しさを伝えてくださっています。また、図書コーナーの整理、本の整頓、壁面の飾りつけなど環境整備にも取り組んでいただきました。さらに夏休みの児童の居場所づくりとして「どくしょのひろば」を主催していただきました。

- ③ よりそいボランティアの方に児童の見守りをしていただきました。教室で不安な様子を見せる児童にそっと寄り添っていただくことで、安心して授業に参加することができていました。また、本年度は2名の方が新たにボランティアとして活動してくださいました。
- ④ 昔遊びボランティアの方を講師として招き、1年生が昔遊び体験を行いました。また、室内クラブの活動にも参加していただき、児童にお手玉やこま回しの楽しさを伝えていただきました。
- ⑤ 環境整備ボランティアの方に草刈りをしていただき、安全な環境づくりの支援をしていただきました。
- ⑥ 地域の陶芸サークル「陶香クラブ」の方に来ていただき、5年生の図工科・なばり学として伊賀焼づくりの支援をしていただきました。また、桔梗が丘市民センターにある窯で焼成（素焼き・釉薬かけ・本焼き）をしていただきました。
- ⑦ ミシンボランティアの方に5年生、6年生の家庭科支援をしていただきました。



②読み聞かせ



④昔遊び



⑥陶芸作品づくり

(3)【地域貢献の場づくり】

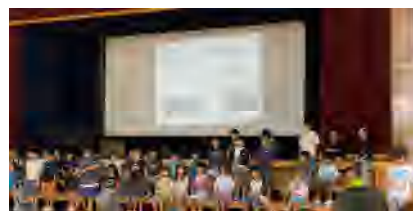
- ① 地域学校委員会が中心となり、地域貢献を行いました。
 - ・地域の方と一緒にあいさつ運動をしました。
 - ・地域の方と一緒に通学路の清掃活動を行いました。
- ② 地域の野菜販売所「おひさま市場」で2年生が育てたラディッシュ、大根を販売していただきました。また、取り組んできたことをかがやき集会で発表しました。
- ③ 3年生がボランティアさんから聞き取ったことをかがやき集会で発表し、全校児童へボランティアさんの思いを伝えました。
- ④ 「陶香クラブ」の方に支援していただき、完成した5年生の陶芸作品を市民センターで展示していただきました。
- ⑤ お世話になった地域の方へお礼状や6年生が家庭科で作成したプレゼントをボランティアさんへ渡しています。



① 地域の清掃活動



②おひさま市場へ出荷



③かがやき集会

3. 成果と課題

【成果】

◇学校の強みや課題を共有し、熟議を行うことができました。第2回学校運営協議会にPTA本部役員の方や教職員が参加したことで、より幅広い視点での意見や示唆をいただくことができました。

◇ボランティアコーディネーターを通して、様々な教育活動に地域の方が参加していただきました。児童との交流の機会が増えてきています。

◇全校児童へ向けて集会などで発信を行うことで、地域への関心が高まってきています。

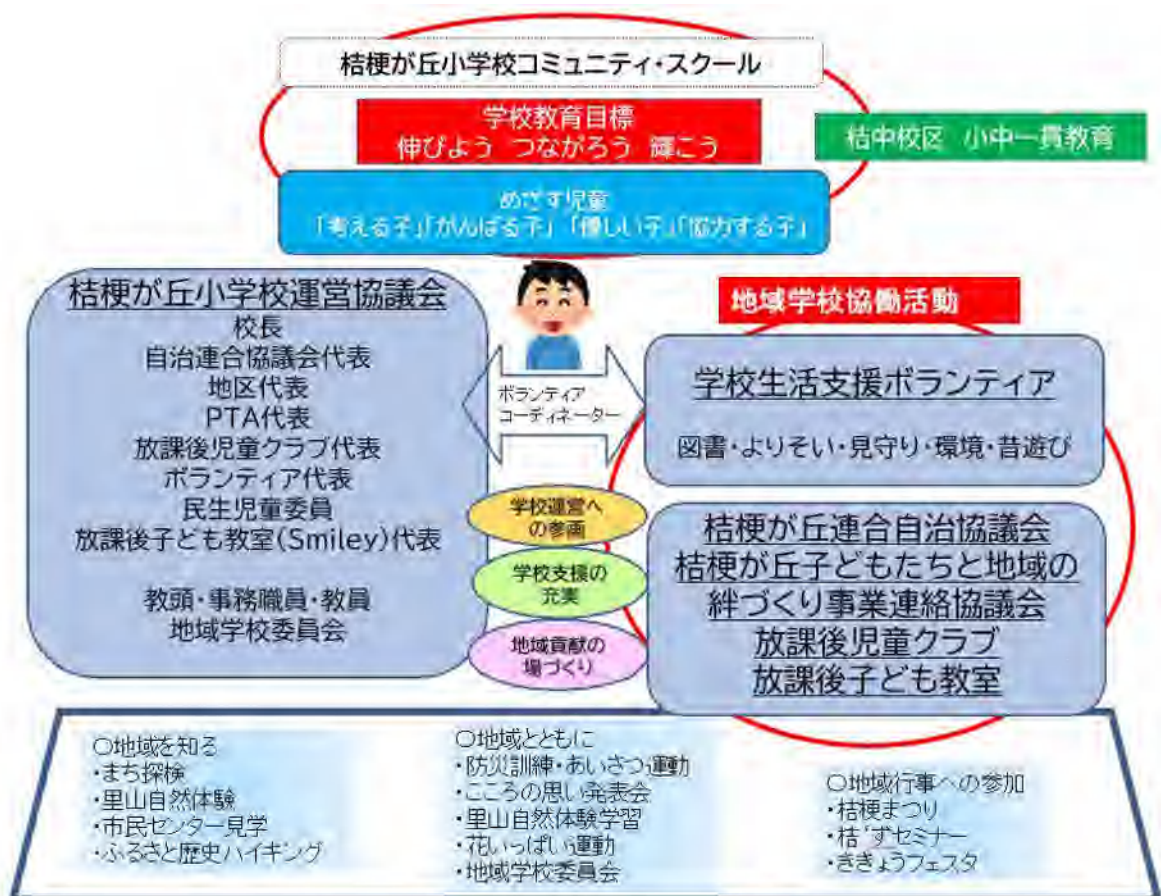
◇おひさま市場での野菜販売を通して、保護者の方にも地域を知っていただく機会となりました。

【課題】

◆登下校の安全を確保していただいている「見守りボランティア」の方などの世代交代が必要な時期となってきました。ボランティアに参加していただける方の確保が必要です。

◆保護者、地域へ学校の取組や児童の様子を発信する手段として学校だより、学校ホームページを活用していますが、記載できる内容に限りがあります。情報発信の新たな方法を開拓していく必要があります。

4. 学校運営協議会の組織図



桔梗が丘南小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和7年5月16日（金）13時30分～15時30分〉

- ① 委員の委嘱
- ② 名張市学校運営協議会規則について
- ③ 委員の紹介及び会長、副会長の選出
- ④ 授業参観の感想
- ⑤ 本年度の学校運営の基本方針について
- ⑥ 学校運営協議会の運営について

【第2回】学校運営協議会〈令和7年7月29日（火）9時30分～11時30分〉 ※教職員との懇談

- ① 熟議（グループ協議） 「地域と学校がともにできること」
- ② 全体交流

【第3回】学校運営協議会〈令和7年12月4日（木）13時20分～15時30分〉

※児童集会（にこにこウォークラリー）参加

- ① 熟議（グループ協議） 「学校にのぞむこと、地域と学校がともにできること～児童の姿から～」
- ② 全体交流

【第4回】学校運営協議会〈令和8年2月17日（火）13時30分～15時30分〉

- ① 本年度の学校運営の成果と課題について
 - ・学校評価アンケート結果（児童・保護者）
 - ・学校自己評価
- ② 小中一貫教育の進捗状況について
- ③ 来年度の取組内容について
- ④ 令和7年度学校運営協議会評価書の作成について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観の後、授業改善に向けて協議を行いました。
- ② 各学年で地域素材と教育課程の関連を確認しながら、桔梗が丘南小校区の「ひとものこと」に出会う地域学習年間計画を立案し、実践しました。
- ③ 「地域と学校がともにできること」について教職員や委員で熟議を行い「めざす学校像」の実現に向けて実態共有と方策を話し合いました。
- ④ 学校評価について協議し、「学校評価書」としてまとめました。



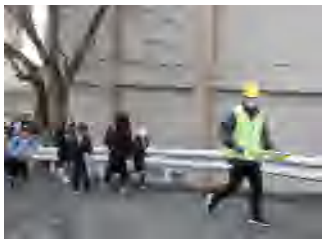
学校運営協議会



教職員との熟議

(2)【学校支援の充実】

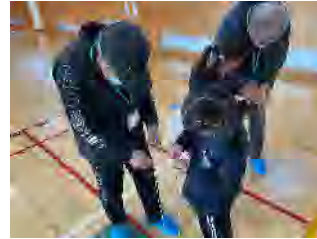
- ① 毎日の登下校を地域のボランティアの方に見守っていただくとともに、民生委員の方のあいさつ運動によって安全を確保していただきました。
- ② 交通安全協議会を年2回（7月、3月）実施し、登下校ボランティアの方から、児童の姿や通学路の危険場所等について意見をいただきました。
- ③ 草刈りや樹木の剪定など学校敷地内の環境整備をしていただきました。
- ④ 委員会活動に合わせ、児童と共に花壇の整備や花の栽培をしていただきました。
- ⑤ クラブ活動の囲碁将棋の指導をしていただきました。
- ⑥ 毎週金曜日、図書ボランティアによる読み聞かせをしていただくとともに、図書室の本の手入れや掲示・環境整備などをしていただきました。また、毎学期、オカリナ・マンドリンのコンサートを開催していただきました。
- ⑦ スポーツテストでの計測サポートや児童集会へ参加していただき、子どもたちの生き生きとした活動を見ていただきました。
- ⑧ 学習支援ボランティアとして子どもたちの学びのサポートや調理実習、ソーイング等の児童への支援をしていただきました。
- ⑨ 全学年での地域学習に、ゲストティーチャーとして学校運営協議会委員の方を中心に学びと出会いのサポートをしていただきました。
- ⑩ ボランティアミーティングを開催し、各ボランティアの代表が一堂に会し、それぞれの活動状況の交流や情報交換を通して、児童や学校への支援について話し合っていました。
- ⑪ 本校卒業生のシンガーソングライター平井堅さん作曲の「桔梗が丘」と校歌を、保護者や地域の皆さん、教職員で歌い、「6年生を送る会」で子どもたちに披露する予定です。



登下校の見守り



行事支援（体力テスト）



学習支援（昔遊び）



ボランティアミーティング

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 全学年が地域学習に取り組み、児童が地域に出かけたり、ゲストティーチャーとして地域の方が来校されたりする機会をもち、校内ウォークラリーなどでふれあう時間を確保できたことで、子どもたちは地域に関心を抱き、親しみをもつことができました。
- ② 地域の防災学習として4年生は、桔梗南地区の防災コーディネーターから地域の避難所や防災倉庫について説明をしていただきました。11月15日の名張市総合防災訓練では、全校児童が各地区の避難場所に集合し、各地区の役員の方の先導で学校（指定避難所）に登校する体験を行った。また、低中高に分かれ、訓練体験や見学、新聞スリッパ作りなど、地域の方と共に防災学習に取り組みました。
- ③ 6年生は、小学校生活を支援していただいた地域に貢献する活動として、3学期に地域のクリーン作戦を行う予定です。
- ④ 桔梗が丘自治連合協議会の「子どもたちと地域の絆づくり事業」では、児童と共に花を育て、地域の方に配付しています。



校内ウォークラリー



地域学習（防災学習）



市総合防災訓練

3. 成果と課題

【成果】

- ◇学校運営協議会を1回増やし、夏休みに教職員とグループで熟議する機会を設定しました。委員の方からも「教職員の思いを聞け、意見交流ができて良かった」との声をいただきました。
- ◇スポーツテストの計測など、新たな支援に取り組んでいただきました。
- ◇ボランティアの方に全校集会への参加を呼びかけ、校内ウォークラリーを児童らと共に楽しんでいただけの機会を設定できました。
- ◇今年度もボランティアミーティングを開催し、各ボランティアの活動状況を交流するとともに、子ども・学校への支援についての共通認識を図っていただきました。子どもたちの安全確保だけでなく、教職員への支援や学校環境へも視点を当て話し合っていたることができました。
- ◇登校時の見守りや下校時の付き添いにより、児童の交通や防犯への安全確保に努めていただきました。
- ◇毎週金曜日の読み聞かせや図書室の整備等の支援により、子どもたちは読書に関心をもつことができました。図書室に季節ごとの展示や掲示をしていただいていることで、児童は居心地のいい場所になっています。
- ◇地域の防災学習と桔梗が丘第3ブロック（桔梗南小校区）防災委員会と引き続き連携ができました。また、11月の防災訓練の際、地域の方との一斉登校だけでなく、各学年に応じて防災体験活動ができる機会を設定できたので今後とも続けていきます。
- ◇家庭科の学習において、技能的支援にボランティアとして参加していただけることで、安全面での配慮や、きめ細やかな支援につながりました。
- ◇定期的に花壇を整備していただいていることにより、季節ごとの花に囲まれた環境ができています。

【課題】

- ◆学校運営協議会や学校ボランティアとの連携の場を多く作る必要がある。教職員や保護者と関わる機会を増やしたり、PTA活動と連携を深めたりする機会を作っていく必要があります。
- ◆「家庭・地域・学校」ができることを視点に熟議し、具体的な取組につなげていくことが重要です。また、地域の協力だけでなく、学校から地域へ貢献できるような取組に発展させていく必要があります。
- ◆ボランティアの方の人材確保が必要です。チラシや声掛けによるボランティア募集の周知をする必要があります。そのため、地域人材を把握していたり、主体的に活動されていたりする方にコーディネーターとして参画していただく必要があります。
- ◆「地域学習」の取組を継続して実施していくため、コミュニティ・スクールのテーマ「大好き ええとこ わたしたちの町 桔梗が丘」を視点に、各学年の地域カリキュラムの見直しや教材開発を進めていくことが重要です。また、学習や活動を支援していただける地域人材発掘を全教職員で行う必要があります。

4. 学校運営協議会の組織図



桔梗が丘東小学校

1. 学校運営協議会の開催について

【第1回】学校運営協議会〈令和7年6月5日（木）13時40分～16時〉

- ① 授業参観
- ② 委嘱状交付、委員の紹介、会長・副会長の選出
- ③ 令和7年度学校運営について
- ④ 学校運営教委会の組織並びに運営方針について
- ⑤ 部会別協議（3部会）
- ⑥ 情報交換・その他

【第2回】学校運営協議会〈令和7年10月17日（金）14時～16時〉

- ① 授業参観
- ② 児童の学校生活の様子・学力向上に向けた取組について
- ③ 熟議 内容：「主体的に学び活動する児童の育成」について（教職員との懇談）
- ④ 各部会からの報告（課題と今後の活動について）

【第3回】学校運営協議会〈令和8年2月16日（月）15時30分～17時〉

- ① 本年度の学校運営の成果と課題について
- ② 「令和7年度の学校評価書」について
- ③ 次年度の学校運営及び学校運営協議会について
- ④ 「各部会の次年度の活動について」

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員による授業参観、学校運営（基本方針）の承認。
- ② 学校運営協議会委員からなる3部会により「令和7年度学校・地域協働活動年間計画」（CSカレンダー）の検討と取組の確認、今年度の子どもたちへの支援について協議。
- ③ 教職員との熟議による「育てたい子ども像」の共有と取組の確認。
- ④ 児童、保護者など学校アンケート結果および全国学力・学習状況調査等の結果から見えた課題の共有と今後の取組についての協議。
- ⑤ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。



委員による協議



授業の参観



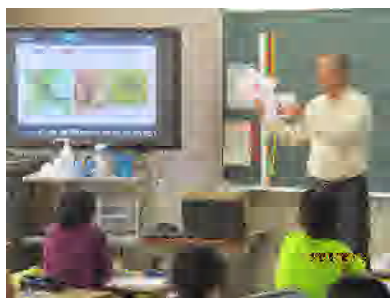
教職員との熟議

(2)【学校支援の充実】

- ① 「あそびっくす」実行委員会との連携による「あそびっくす in 東小」の開催
・ 花の栽培やじゃがいもの苗植え、いもほりなど体験的な学習の場の提供。
・ キッズプロジェクトとして、児童が地域イベントを企画運営、「デイキャンプ」の実施。
・ 夏季休業中の居場所づくりとして、工作や陶芸体験など「夏休みわくわく広場」を開催。
- ② 「子どもを守る連絡会」と連携した登下校ボランティアによる児童の見守り支援や学校周辺の除草作業、通学路・運動場の整備。
- ③ 読み聞かせボランティアによる本の読み聞かせ。
- ④ 地域で活動している方による、ゲストティーチャーとしての体験的な学習の支援。
- ⑤ 「地域の絆づくり事業連絡協議会」による里山体験などの学習支援。
- ⑥ 桔梗が丘自治連合協議会の支援による防災訓練、防災学習の実施。
- ⑦ 桔梗が丘自治連合協議会によるセアカゴケグモの駆除作業など校内環境整備。



① 夏休み わくわく広場



④ ニホンハナタカバチの観察



⑤ 里山体験学習

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 「あそびっくす」実行委員会と連携し、「通学路花いっぱい運動」の取組を通して児童・保護者・地域住民との交流。栽培した花を地域の方へ無償配布。
- ② 登下校や環境整備、読み聞かせ等でお世話になったボランティアの方々への「感謝の会」を実施。また支援ボランティアの相互理解を進めるため、「ボランティア交流会」を開催。
- ③ 桔梗が丘市民センター祭りへの児童の作品展示、「こころの思い発表会」への児童参加。
- ④ 「名張市総合防災訓練」において、避難所開設訓練の運営に携わり、会場準備を担当。



花いっぱい運動



避難所開設訓練



「あそびっくす in 東小」
キッズプロジェクト

3. 成果と課題

【成果】

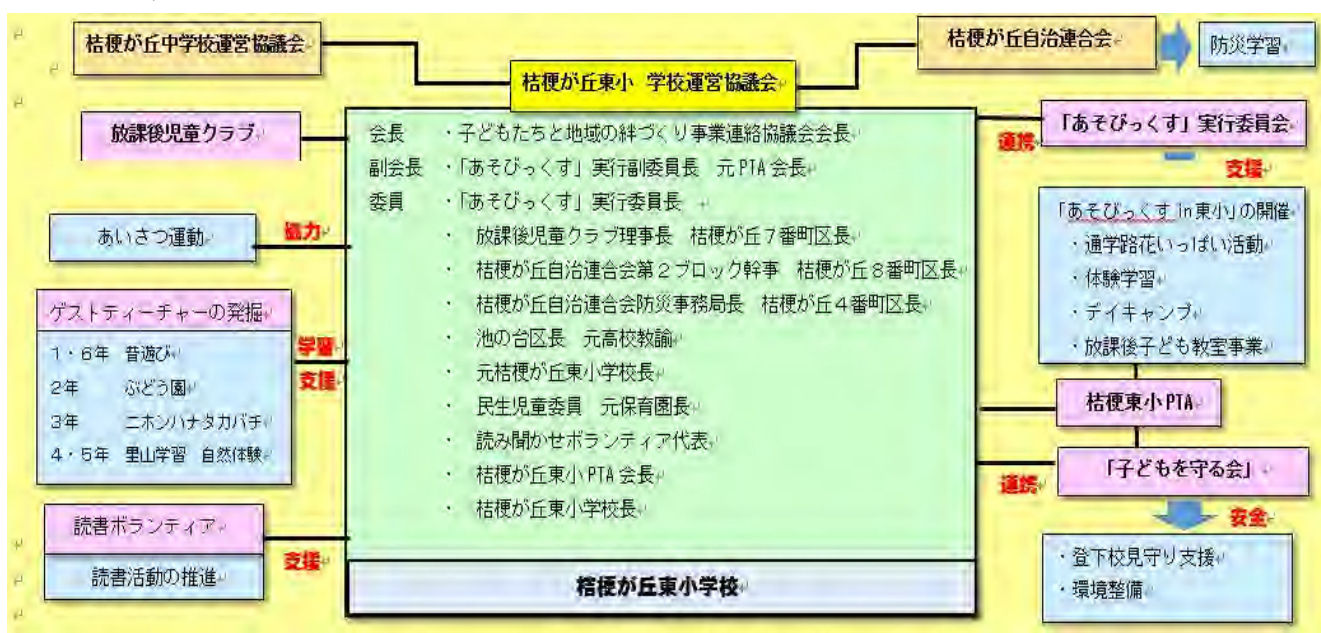
◇学校運営について、委員の皆さんから幅広い視点での理解ある意見や示唆をいただいたことで、子どもたちの「学び」と「育ち」に係る連携・協働した取組を進めることができました。また、行事や地域活動に、学校教育目標「やる気・勇気・元気」を具体的に落とし込み、学校と地域がめざす子どもの姿を共有し、「あそびっくす in 東小」等の活動を実施することができました。

◇各委員の皆さんの担当分野（３部会）を設けたことにより、児童の活動により関心を持っていただきながら具体的に取組を進めることができました。今年度はじめて、あそびっくす実行委員会の協力のもと、夏季休業中に「夏休みわくわく広場」を開催し、地域主体の夏休みの居場所づくりの取組も進みました。また、キッズメンバーが企画したキッズプロジェクトとして、学校を開放し、「あそびっくす in 東小 デイキャンプ」をはじめて実施できたことは、児童が地域イベントを企画運営する機会となりました。

◇「名張市総合防災訓練」にあわせ、今年度はじめて、児童の1次避難場所への避難訓練や本校体育館にて、避難所開設訓練を実施したことにより「防災」をキーワードに学校と地域が連携した取組を進めることができました。

【課題】

- #### 4. 学校運営協議会の組織図



すずらん台小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和7年6月6日(金) 18時30分～19時30分〉

- ① 委員の委嘱、委員の紹介
- ② 名張版コミュニティ・スクール及び名張市学校運営協議会規則について
- ③ 会長・副会長の指名および承認、会長あいさつ
- ④ 学校運営協議会の推進目標等について
- ⑤ 本年度の学校運営の基本方針等について
 - ・北中学校区小中一貫教育、小中一貫グランドデザイン
 - ・今後の主な学校行事
- ⑥ 本年度の学校運営協議会の取組
 - ・地域連携取組「あいさつ運動」について
 - ・地域行事への児童の参画について
- ⑦ その他
 - ・学習の森の整備について
 - ・夏休みの図書館開放について

【第2回】学校運営協議会〈令和7年9月25日(木) 13時30分～15時00分〉

- ① 授業参観
- ② 5・6年代表児童との懇談
 - ・地域行事への参加について
- ③ 地域連携取組あいさつ運動について
 - ・あいさつ標語の募集状況と今後の啓発活動について
 - ・あいさつ運動「のぼり」作成について
- ④ 全国学力学習状況調査の結果等について
- ⑤ 学習の森の整備について
 - ・森と緑の県民税交付金の活用状況
- ⑥ 夏休みの図書館開放について
- ⑦ すずらん台夏まつりへの児童の参画状況
- ⑧ その他
 - ・2学期の行事について

【第3回】学校運営協議会〈令和7年2月26日(木) 18時30分～19時30分〉

- ① 本年度の総括と次年度に向けて
- ② 学校運営協議会評価について
- ③ 次年度委員について
- ④ あいさつ運動について
- ⑤ その他 学森整備について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

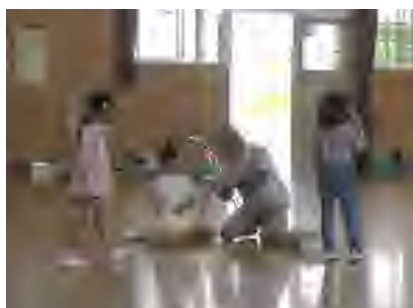
(1)【学校運営への参画】

- ① 児童の日常や実態について共有し、解決策について協議しました。
- ② 学力テストの結果を共有し、その結果をもとに現在進めている学校の取組を共有し、意見交流しました。

- ③ 学校評価について協議した後、「学校評価書」としてまとめました。

(2)【学校支援の充実】

- ① 運動会の準備や片づけに地域のボランティアの皆さんに協力いただきました。
② 昔遊び集会や焼いも大会へボランティアとして地域の皆さんに協力いただきました。



<昔遊びの会>



<やきいも大会>

- ③ 快適な学校環境づくり（草刈り・剪定）のために地域のボランティアの皆さんに協力いただきました。
④ 図書ボランティアの方に、図書室の蔵書の整理や一冊一冊の本のクリーニング作業をすすめていただき、また夏休みには、学校運営協議会委員が管理者となり、図書館開放を行うことができました。



<図書館開放チラシ>



<図書館開放の様子>

- ⑤ すずらん台地内の町探検、すずらん台のキラキラさん、ボランティア体験で校区内の施設を訪ねました。さまざまな人との出会いから、生き方や仕事について学ぶことができました。



<ボランティア体験>



<施設たんけん>

- ⑥ 町づくり協議会と学校運営協議会とが協働し、地域連携取組として「あいさつ運動」を推進しています。町づくり協議会から啓発のぼり旗等、予算的な協力や実働的な協力を得ることができました。すずらん台の小中学生が作成した「あいさつ標語」は、「すずらん台市民センターまつり」で掲示していただきました。



<啓発のぼり旗を活用したあいさつ運動>



<あいさつ標語>

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 第2回学校運営協議会で、5・6年生児童代表と学校運営協議会委員による懇談会をもち、地域行事の内容や児童の参加の仕方について話し合うことができました。
- ② 「すずらん台夏祭り」のポスターを児童が作製したり、「すずらん台夏祭り」やすずらん台地域行事「どんと」の準備等に5・6年生児童数名が参加できました。



<児童代表と学校運営協議会委員による懇談会>



<「どんと」の準備>

3. 成果と課題

【成果】

- ◇ 学校行事や環境整備等に精力的に支援していただいているので、教職員がゆとりを持って子どもたちに関わることができました。
- ◇ 授業支援として多くの地域の方々にご協力いただいていることは、児童が自分の地域を好きになる気持ちにつながっていると考えます。
- ◇ 夏季休業中の図書館開放では、学校運営協議会の委員が管理者となり、スムーズに運営することができました。委員以外の地域の方々も子どもの見守りに協力してくださいました。
- ◇ 地域連携取組「あいさつ運動」について、学校のあいさつ運動と連携させながら、町づくり協議会の理解や支援を得て、「啓発のぼり旗の作成」「あいさつ標語募集と市民センター祭での掲示」などの取組を進めました。運動は地域内に浸透し、児童の登下校に合わせて散歩する等、外に出て自ら子どもたちの登下校を見守ってくださっている方が多くいます。また、その方々から「子どもたちが元よくあいさつしている」という声を聞かせていただきます。今後も継続していくことで、地域に根付いた地域住民相互の安全・安心につながる運動となるように考えています。

◇「あいさつ標語」の取組では、北中校区小中一貫の「あいさつ運動」と絡めて北中学校にも協力いただき、すずらん台地区に住む小中学生に募集をかけました。このことも、地域住民への啓発につながっています。

【課題】

- ◆家庭学習やゲーム・スマホの使い方についての課題解決のため、強化期間の設定や講演会等を実施していますが、今後も継続して家庭と学校とが共に考え取り組む方策を考えていくようにする必要があります。
- ◆新規で登録いただいたボランティアの方は少数で、ボランティアの方が固定化し高齢化している現状にあります。
- ◆「あいさつ運動」を長期的な学校・地域連携取組としていきたいです。
- ◆地域内での次世代育成が課題という声を聞くが、地域内だけの課題ではなく、学校運営協議会組織としても課題となってくると考えています。

4. 学校運営協議会の組織



梅が丘小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和7年5月23日（金）13時30分～15時30分〉

- ① 学校長挨拶、委員の委嘱
- ② 授業参観
- ③ 学校運営協議会規則について
- ④ 委員の紹介および会長・副会長の選出について
- ⑤ 学校運営協議会会長挨拶
- ⑥ 本年度の学校運営の基本方針について
- ⑦ 熟議「子どもたちが「誰かの役に立っている」と感じられる場面をどのように作るか」

【第2回】学校運営協議会〈令和7年11月27日（木）13時40分～15時10分〉

- ① 授業参観
- ② 子どもたちの様子等について（情報共有）
- ③ 熟議「子どもたちの居場所づくり、地域貢献の場づくりについて」

【第3回】学校運営協議会〈令和8年2月6日（金）14時30分～15時30分〉

- ① リーダー会（児童会）との合同熟議「春祭りプロジェクト会議」

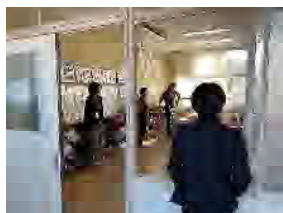
【第4回】学校運営協議会〈令和8年2月20日（金）13時40分～15時30分〉

- ① 授業参観
- ② 本年度の学校運営の成果と課題
- ③ 学校評価書について
- ④ 熟議「子どものウェルビーイングを高めるために【学校評価】」
- ⑤ 来年度の運営について

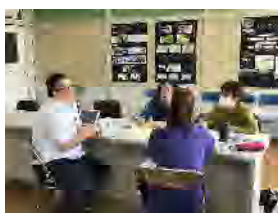
2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

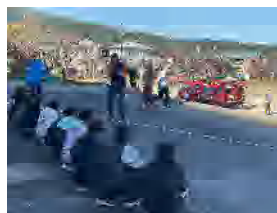
- ① 授業参観の後、子どもたちの様子について、意見をいただきました。
- ② 学校の課題を共有し、意見をいただき、理解を得ることで学習支援など地域の協力を得ることができました。
- ③ 学校と地域が協働して行う防災訓練を実施しました。学校運営協議会の意見を防災訓練の計画に組み込み、学校と地域が協力して地域防災活動を継続して進めていくことを確認しました。
- ④ 熟議の場において、児童代表と対話を行い学校運営協議会での意見に組み込むことができました。



①授業参観



②学校課題の共有



③防災訓練



④児童会話し合い

（2）【学校支援の充実】

- ① 読書ボランティア活動による本の読み聞かせ
- ② 地域学校協働カリキュラムの実施、支援（防災教育、俳句教室、キャリア教育他）

- ③ 昔あそび、フリーピンポンなど地域の方々と交流する梅小交流会の実施、支援
- ④ プール学習実施における見守り活動などの支援
- ⑤ 家庭科学習（手縫い、ミシン学習）におけるボランティア支援活動
- ⑥ 授業支援・児童支援にむけた「うめまる先生」プロジェクトの実施



①本の読み聞かせ



②俳句教室



⑤家庭科学習支援



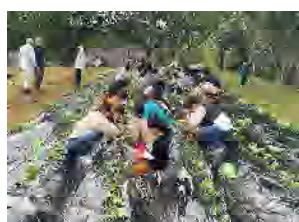
⑥夏休みうめまる先生

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 地域学習に取り組むことにより、地域の人・もの・ことを知り、地域の方の思いについて学ぶことができました。
- ② 子どもたち対象の地域イベント（うめマルシェ、秋まつり、放課後子ども教室、わいわい広場等）に子どもたちの多くの参加が得られました。
- ③ 学校と地域が協働する形での名張市総合防災訓練を実施することにより、危機対応とともに子どもたちの地域への理解が深まりました。
- ④ 地域学校協働カリキュラム、CSカレンダーの作成を行い、持続可能な活動について整理しました。



②うめマルシェ



②地域イベント



③秋まつり



③防災訓練

3. 成果と課題

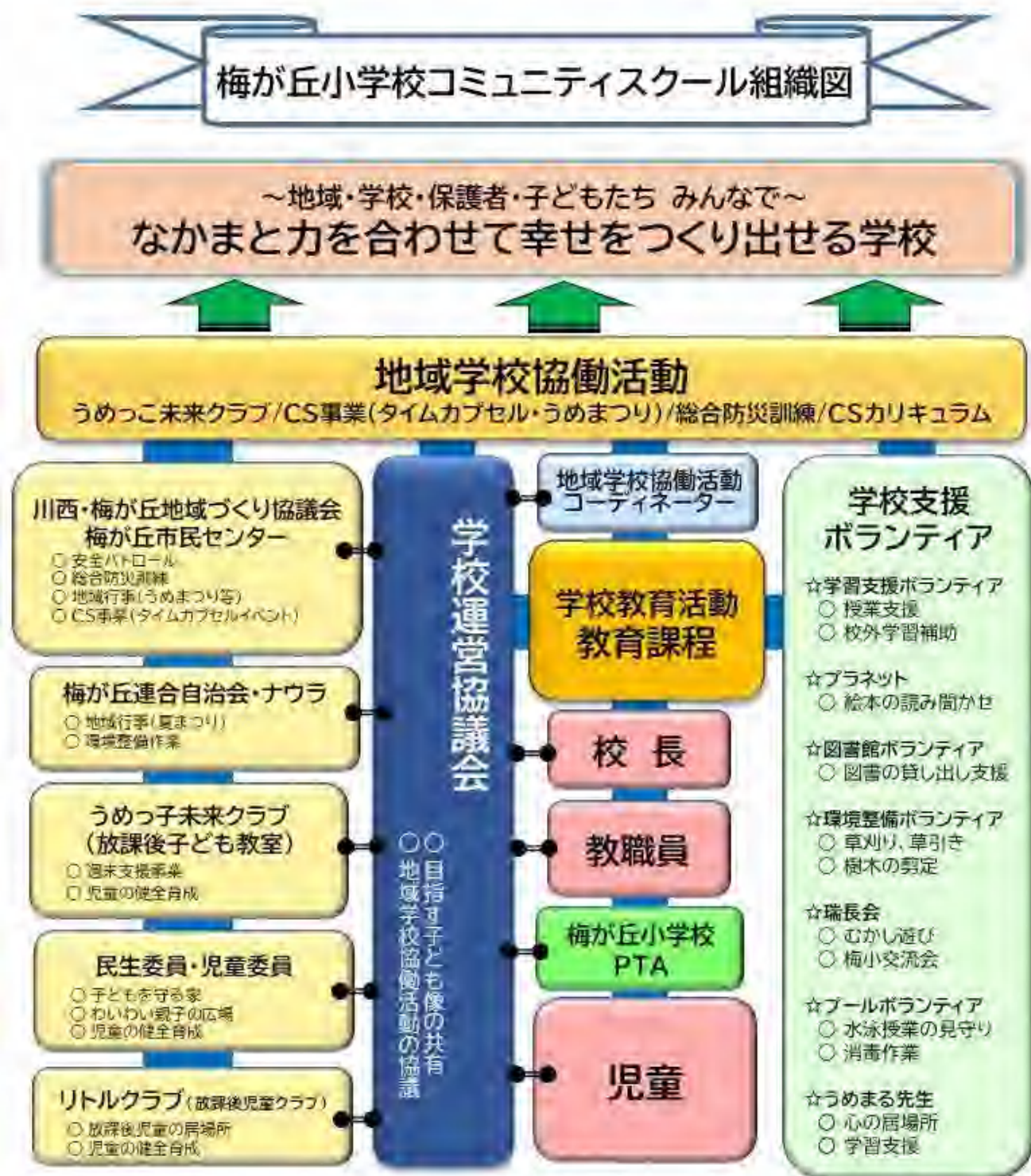
【成果】

- ◇授業参観を行うことで、子どもたちの現状と授業の様子を共有することができ、意見をいただくことができました。
- ◇学校の実情を知っていただき、支援や協力を多くいただくことができました。
- ◇授業支援・児童支援の活動への理解・協力を得ることができました。
- ◇感染症対応や厳しい気候への対応が必要となる中、プール水泳の見守りなど状況に応じた学校支援をしていただきました。
- ◇地域の人材をゲストティーチャーとして招き、学校と地域が協働して行う地域学校協働カリキュラムやキャリア教育支援を実施することができました。
- ◇防災訓練を実施するにあたり、熟議を通して防災訓練計画を立案し、地域と協働した防災訓練を行うことができました。

【課題】

- ◆学校の様子を積極的に発信するとともに、地域で活動する団体と連携し、さらに活気ある学校運営に向けての取組をしていきたいです。
- ◆地域と学校が協働した取組を継続できる仕組みを構築していく必要を感じる。
- ◆スクール・コミュニティの実現に向け、学校運営協議会や地域コミュニティ理事会の場で思いを共有する取組を続けていきたいです。
- ◆今年度より児童代表との合同熟議を行うことにしたが、継続して児童の意見を取り入れていく仕組みを構築していく必要があります。

4. 学校運営協議会の組織図



百合が丘小学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和7年5月29日（木）13時40分～16時〉

- ① 授業見学
- ② 委嘱状交付
- ③ 名張市学校運営協議会規則について説明
- ④ 委員の紹介及び会長、副会長の選出
- ⑤ 協議・学校運営協議会の運営について
 - ・本年度の学校経営方針等について
 - ・本年度の組織と取組について
 - ・小中一貫教育の推進について
- ⑥ 意見交流「百合が丘小学校運営協議会の活動をさらに充実させるために」

【第2回】学校運営協議会〈令和6年10月23日（木）13時40分～16時〉

- ① 児童の様子、全国学力・学習状況調査のふりかえり
- ② 災害時の対応について
- ③ PTA改革の進捗について

【第3回】学校運営協議会〈令和8年2月13日（金）15時～17時〉

- ① 支援活動の報告
- ② 学校評価アンケートについて
- ③ 本年度の学校運営の成果と課題について
- ④ 学校職員と運営協議会の懇談

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

(1)【学校運営への参画】

- ① 学校教育目標についてご承認をいただくとともに、授業の様子を参観していただいた後、現在の児童の実態を踏まえた学校運営全般について、貴重なご意見をいただきました。また、学習支援を行っている「ほめほめ隊」の活動につきましては、学校と地域ボランティアが連携・協働しながら、今後も子どもたちを支えていくことの重要性についてご意見をいただきました。
- ② 学校安全および防災教育の観点から、総合防災訓練の取組に加え、非常時の避難地としての学校の在り方や、必要な備えについて協議を行いました。
- ③ PTA加入率が年々減少している本校の課題を踏まえ、子どもたちの学習環境をより充実させていくために、学校・家庭・地域が連携してできることや、それぞれの役割について協議を行いました。
- ④ 学校評価について協議を行い、その内容を「学校評価書」としてまとめました。

(2)【学校支援の充実】

- ① 今年度も引き続き、「ほめほめ隊」による学習支援（国語・算数を中心に、図工科や家庭科等）を実施していただきました。校外学習でも子どもたちの見守りや一緒に活動をしていただきました。また、朝の挨拶運動を兼ねた登校見守り、校外学習での引率、プール授業の見守り等の支援により、

児童の安全確保を図ることができました。

さらに、基礎学力の定着を目的として、2学期末から3学期にかけて業間休みに「こつこつ計算らんど」（火曜日：低学年、金曜日：高学年）を開催していただきました。

- ② 図書ボランティアの皆様による毎週火曜日朝の読み聞かせを実施していただき、子どもたちが本に親しむ貴重な機会となるとともに、落ち着いた雰囲気の中で一日をスタートすることができました。

- ③ 毎週水曜日の業間休みに折り紙教室を実施していただき、子どもたちの居場所づくりや、休み時間の活動の充実を図ることができました。

また、月に1回、職員室前や図書室前に、季節感のある折り紙を活用した掲示を行っていただいております。

- ④ 下校ボランティアの皆様（20名以上）には、1・2年生の下校時に付き添っていただき、不安を抱えやすい低学年児童が、安全かつ安心して下校することができました。

- ⑤ 栽培活動においては、田畑の耕作や作物の収穫をお手伝いいただくとともに、手本を示しなら子どもたちへ丁寧にご指導いただきました。

また、地域の田をお借りした稲作体験を実施し、地域と連携した学びを深めることができました。



校外学習見守り



こつこつ計算ランド

（３）【地域貢献の場づくり】

- ① 12月に稲作体験として田植えや稲刈りでお世話になった地域の方々に対して、5年生が音楽会で発表した合唱を披露し、収穫したお米を渡したり、感謝の気持ちを伝えたりしました。

- ② 児童が参加できる市民センターでの行事を学校でも紹介をし、地域の活動に積極的に参加できるようにしました。

- ③ 2月末には、さまざまな地域ボランティアの方にお世話になった感謝の気持ちを伝えるお礼の会を開きました。



お米ありがとう集会

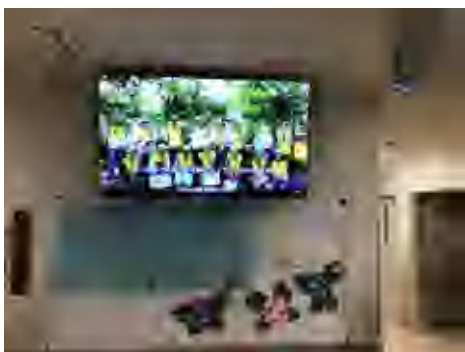


ボランティアさんへのありがとう集会

3. 成果と課題

【本年度の新たな成果】

- ◇ 本年度より、学校からの行事予定や時間割、各時間における学習支援の依頼内容等の連絡、ならびにボランティア・コーディネーターによる支援ボランティアの調整について、G o o g l eを活用した電子的なやり取りを開始し、業務のD X化を進めました。これにより、学校とボランティア・コーディネーター双方の連絡および事務手続きを、I C Tを活用してより綿密かつ効率的に行うことが可能となりました。具体的な成果として、授業支援の内容を事前に教科担当や学級担任からボランティアの皆様へ共有することができるようになり、活動の目的が明確化され、子どもたちにとってより充実した学習支援につながっています。
- ◇ 来客用玄関前にデジタルサイネージを設置し、子どもたちの自己肯定感の涵養を目的として、学校生活の中で頑張っている様子を映像で発信しています。その中で、学校支援ボランティアの皆様の活動の様子も紹介することにより、子どもたちや来校者に活動内容を広く知っていただくとともに、ボランティアの皆様にとっても活動の励みとなっています。また、読書ボランティアの活動を知った保護者が新たに参加するなど、活動の情報共有が進み、地域における次の担い手の発掘にもつながっています。

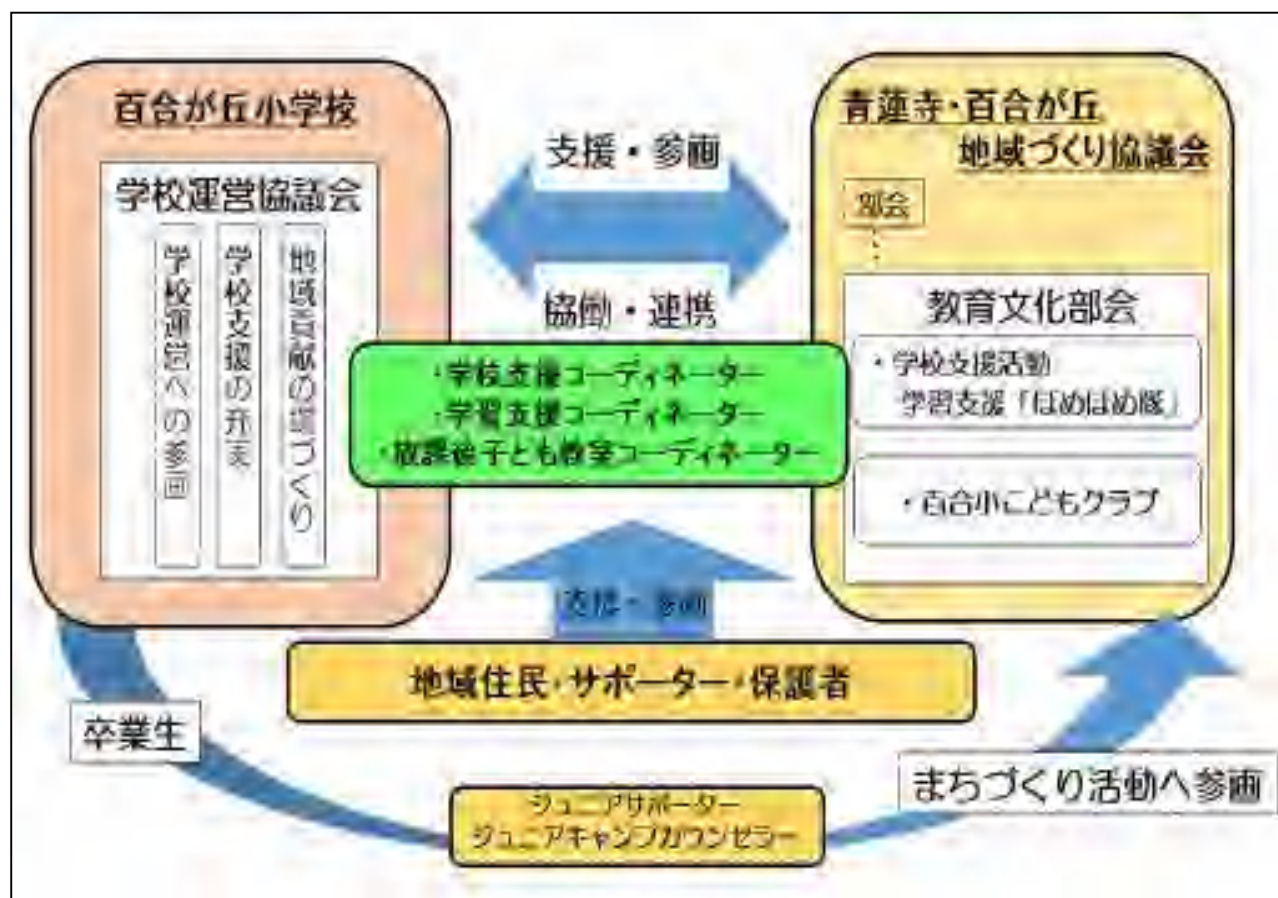


玄関前のデジタルサイネージ

【課題】

- ◆ 現在は学校支援の取組が中心となっているため、今後は学校が支援を受けるだけでなく連携・協働できる体制へと発展させていく必要があります。そのための具体的な方法や仕組みについて、引き続き検討を進めていくことが課題です。
- ◆ 学校支援ボランティアの皆様には、長年にわたり継続的なご協力をいただいておりますが、一方で高齢化が進んでいる現状もあり、今後の持続可能な活動継続に向けた新たな人材の確保や取組のあり方が課題となってきています。
- ◆ コミュニティ・スクールに係る消耗品費や文書郵送等の予算配当はあるものの、使用目的が限定されていることや予算規模が十分とは言えない状況があり、その結果として地域の皆様にご負担をお願いしている現状があります。今後は、持続可能な運営のための財政面での工夫や支援の在り方についても検討が必要です。

4. 学校運営協議会の組織図



名張中学校

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和7年5月20日(火) 16時～17時30分〉

- ① 生徒会本部役員との懇談会
- ② 委員の委嘱について
- ③ 名張中学校学校運営協議会会則について
- ④ 委員紹介、会長・副会長選出
- ⑤ 学校生活の様子について
- ⑥ 学校経営方針及び学校経営計画の承認について
- ⑦ 本年度の名張市学校運営協議会の組織及び事業内容について

【第2回】学校運営協議会兼学校支援ボランティア懇談会〈令和7年8月27日(水) 15時～17時〉

グループ討議 熟議「子どもを主役とした、これからの学校支援の在り方について」

- ① 名張中学校の取組報告
- ② 現状の「寺子屋（居場所づくり・学習支援）・防災訓練への参加」と今後の取組について
- ③ それぞれの立場から考える、「子どものために何ができるか」

【第3回】学校運営協議会〈令和7年12月11日(木) 15時20分～16時20分〉

生徒会本部役員との懇談会「名張の未来を担う私～世代を超えて、夢を育み未来を創る～」

- ① 自己紹介 アイスブレイク「名張の宝物」リレー
- ② 意見交流「未来に向けてつきたい力と理由」
- ③ 熟議「未来のために何をしていくか」

【第4回】学校運営協議会〈令和8年2月26日(木) 16時30分～17時30分〉開催予定

- ① 生徒会本部役員との懇談会を受けて
- ② 令和7年度学校自己評価について
- ③ 全国学力状況調査、学校教育アンケート
- ④ 今年度の反省、来年度に向けて

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

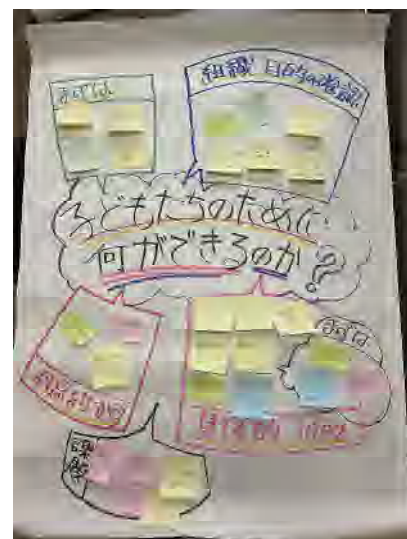
(1)【学校運営への参画】

- ① 第1回の運営協議会では生徒会本部役員との懇談会を会の冒頭に設けた後、学校スローガンや名張中学校の様子をICTを活用して伝え、委員からの質問にも答えながら話し合いをしました。そのあと、学校経営計画の確認と学校教育目標についての意見交流を行い、経営方針等についての承認が行われました。学校運営協議会として学校運営にどう関われるかなどについての意見が出され、第2回の運営協議会の討議の内容につながる協議ができました。
- ② 第2回の運営協議会ではこれまで取り組んできた「寺子屋（居場所づくり・学習支援）」について、会長がファシリテーターとなり司会進行を務め、ブレインストーミングの手法を使って、熟議を深めました。現状をよりよくしていくための意見が出て、2学期以降の取組に反映することができました。さらに、子どもたちの生の声を聞いて今後の取組を考えていきたいという意見が出されました。

- ③ 第3回の運営協議会では生徒会本部役員と未来に向けてつきたい力や、大人としてつけてほしい力について意見を出し合い、そのために何ができるのかについて熟議をしました。生徒の意見を中心に会は進んでいき、短期・中期・長期それぞれのプランを立て、今後の取組につながる意見が出されました。



① 生徒会の参加



② 熟議の内容

(2)【学校支援の充実】

- ① 昨年度に引き続き、名張中学校寺子屋（居場所づくり・学習支援）を実施しました。
- ② 居場所づくりでは主に不登校支援を行い、今年度は委員と支援ボランティア担当者に当日に行う内容を提案していただき、手芸、かたやき作り、オカリナ演奏会などを年間7回実施することができました。
- ③ 学習支援では、定期テストの期間に放課後に学習会の時間を設け、生徒の質問に答えてもらったり、学校生活の様子を聞いてもらったりするなどの取組を行うことができました。
- ④ 生徒会活動（文化委員会）の活動支援として花壇の整備を行いました。
- ⑤ 校舎内の環境美化にも取り組んでもらい、玄関に花を生けました。



① 寺子屋の実施



③ 学習支援の取組

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 地域の防災訓練に参加し、実際に地域に出て、避難経路や避難場所を確認しました。その中で地域の人と意見交流、情報交換を行い、地域との連携を図ることができました。
- ② 第3回学校運営協議会において、生徒会本部役員が「地域とのかかわりをつくるために中学生として何ができるか」等について考え意見を発表しました。



①地域防災訓練への参加



②生徒会本部役員の参加

3. 成果と課題

【成果】

- ◇本年度は2回、学校運営協議会と生徒会本部役員の懇談会を設けることができました。生徒の声を学校運営に生かしていきたいという委員の意見を反映することができました。
- ◇居場所づくりにおいて、委員と支援ボランティア担当者のアイデアで実施することができ、充実した取組となりました。生徒との繋がりがより深まるきっかけをつくることができました。
- ◇学習支援において、これまで、自習をしたい生徒と質問をしたい生徒が同じ部屋で取り組んでいたが、部屋を分けることによって、生徒のニーズに合った支援の充実につながりました。教科指導を難しく感じていた方も、自習室での見守りをしてもらうことで、委員とボランティア支援方法や役割が明確になりました。

【課題】

- ◆学校運営協議会の委員と生徒会本部役員の懇談会で出た意見を、どのように実現していくかが課題として挙がりました。出された意見を全て実現することは難しいため、子どもたちの思いや考えを大切にしながら内容を精選したり、優先順位をつけたりする必要があります。
- ◆子どもたちがつけたい力や大人が子どもにつけてほしい力の育成や実現に向けて、生徒・教職員・保護者・地域住民それぞれが何を大切に、何ができるか、連携・協働していくにはどうすればいいのかを考え、実践していく必要があります。
- ◆地域貢献の場づくりにおいて、防災訓練の実施の有無が地域によって異なることや、地域とのつながりに差がみられることなどから、今後は地域の実情を踏まえて、どのように学校と地域が連携・協働していくかが課題となりました。

4. 学校運営協議会の組織図



赤目中学校

Ⅰ. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和7年4月23日（水）18時30分～20時30分〉

① 学校運営協議会について

- ・名張市学校運営協議会規則説明
- ・委員の紹介及び会長、副会長の選出
- ・学校運営協議会の運営と組織について

② 学校運営についての協議

- ・令和7年度学校運営の基本方針について
- ・各種担当について

赤目中学校区人権教育推進協議会委員、通学路合同点検代表者

③ その他（情報交換）

- ・各地区行事等への生徒の参画

赤目中学校生徒作品の市民センター等への展示

学校運営協議会メンバーと中学生（生徒会・ヒューマンライツ）との懇談会（6月5日放課後16時～）

名張市防災訓練（11月15日）での生徒の地域防災組織への参画
子どもの居場所づくり（情報共有と進捗状況）

【第2回】学校運営協議会〈令和7年6月5日（木）16時～18時〉

① 学校運営協議会メンバーと中学生（生徒会・ヒューマンライツ）との懇談会（進行…会長）
テーマ

- ・中学生が自分たちの住む町への期待や希望
- ・子どもの居場所づくりとして地域の取組や願い

② 2学期、各市民センター等への生徒作品、学校の様子DVDの展示について

③ 夏季休業中における教職員との懇談について

④ 花植えについて



①学校運営協議会への生徒参加



④花植えの様子

【第3回】学校運営協議会〈令和7年7月1日（火）18時30分～20時〉

① 学校運営協議会と生徒会、校内ヒューマンライツとの懇談反省

- ・昨年度、行ってきた作品展示や居場所づくり、地域イベントへのスタッフとしての参画等、様々

な活動について、中学生の自尊感情を高めることにつながり、地域の活性化にもつながった。
今年度も継続した取組を行っていききたい。

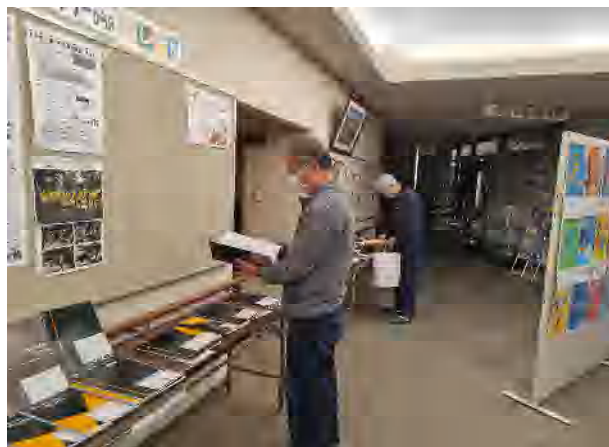
- ・複雑化する世の中において、力強く生き抜く力を身につけ、自分たちの地域に誇りをもって成長していき、いつか、この地域に還元していけるような人材を育てていきたい。
 - ・地域にこだわらず、赤目中学校区4地区が協働して、子どもたちが安心して想像力豊かに育っていってくれるように地域が学校と連携し、子どもたちを育てていきたい。
- ② 学校運営協議会と教職員との懇談について
- ③ 2学期、各市民センター等への生徒作品、学校の様子DVDの展示について

【第4回】学校運営協議会〈令和7年8月19日（火）13時～15時〉

- ① 学校運営協議会と教職員との懇談
- ・自己紹介
 - ・地域との連携協働についての思い（3グループに分かれ、それぞれの思いを聞いて思うこと等）
 - ・現在行っている作品展示や地域行事への参画等への思い
 - ・現在行っている居場所作りや生徒の地域行事への参画等への思い
- ② 2学期、各市民センター等への生徒作品、学校の様子DVDの展示、中学生スタッフの地域イベント参画について



地域清掃活動



生徒作品の展示

【第5回】学校運営協議会〈令和7年9月10日（水）18時30分～20時〉

- ① 学校運営協議会と教職員との懇談の反省
- ・地域の活動等を知る良い機会となった。
 - ・学校と地域との距離が近くなり、つながりを感じられた。
 - ・まだまだ遠慮しているのか、地域に対して、「もっとこうしてほしい」等の本音を出せるようにしていきたいと感じた。その意味でも継続していくことが大切であると思った。
- ② 防災訓練、地域環境Dayについて
- ＊当日の活動
- 錦生地区 一時避難場所に集合→錦生市民センターへ移動→防災訓練
- 赤目地区 一時避難場所に集合→赤目市民センターへ移動→防災訓練
- 箕曲地区 避難場所に集合→箕曲小学校に移動→防災訓練
- 百合が丘・青蓮寺地区 一時避難場所に集合→各避難場所にて防災訓練
- ＊午後 地域清掃活動
- ③ その他
- ・体育大会 9月30日（火） ・文化発表会 10月28日（火）
 - ・名張市防災訓練（地域環境DAY） 11月15日（土）

- ・ 作品展示（絵画・レポート）各地区行事等への生徒の参画（中学生スタッフとして計画）
- ・ 百合が丘フェスタ…１０月１１日（土）、１２日（日） ・ あかめフェスタ…１０月２６日（日）



あかめフェスタ



地域との防災訓練

【第６回】学校運営協議会〈令和７年１２月２日（火）１８時３０分～２０時３０分〉

- ① 名張市防災訓練・生徒の行事への参画反省
- ② A J K（子どもの居場所作り）について
- ③ その他

【第７回】学校運営協議会〈令和８年２月１７日（火）１８時３０分～２０時３０分〉

- ① 今年度の活動について（反省）
- ② 学校評価について
- ③ 次年度に向けて

２．名張版コミュニティ・スクール３本柱に係る取組

（１）【学校運営への参画】

- ① 学校運営協議会委員の方に学校の取組や様子を発信し、生徒につけていきたい力についてご意見をいただき、目指す学校像、生徒像を共有しました。
- ② 学校課題について共有し、解決策についてご意見をいただきました。
- ③ 担当や管理職だけではなく、すべての教職員に地域の思いを懇談会を通して共有することができた。

（２）【学校支援の充実】

- ① 学校運営協議会からの発信により、登下校の安全確保や、部活動支援（外部指導者）、教育環境の整備といった支援等、多くの方々にご協力いただきました。
- ② 学校運営協議会として情報共有を行い、学校教育活動に対し、さらなる支援や経営への参画等、ご協力いただきました。

（３）【地域貢献の場づくり】

- ① 学校だよりの地域回覧を進めることで、コミュニティ・スクールの推進に学校と地域が一体となって取り組む機運の醸成に努めました。また、地域の方々がボランティア活動に取り組む際の選択肢の一つとして「学校」があることを、学校だよりを通じて周知しました。
- ② 生徒の地域行事への積極的な参加につながるように、地域行事に関わる様々な情報を学校運営協議会で共有しました。

- ③ 各市民センター等に、生徒の作品を展示したり、学校の様子をDVDにして配付したりするなど、地域の方々の生徒理解を進めました。
- ④ 地域清掃活動を行い、生徒の地域の一員としての意識高揚を図りました。

3. 成果と課題

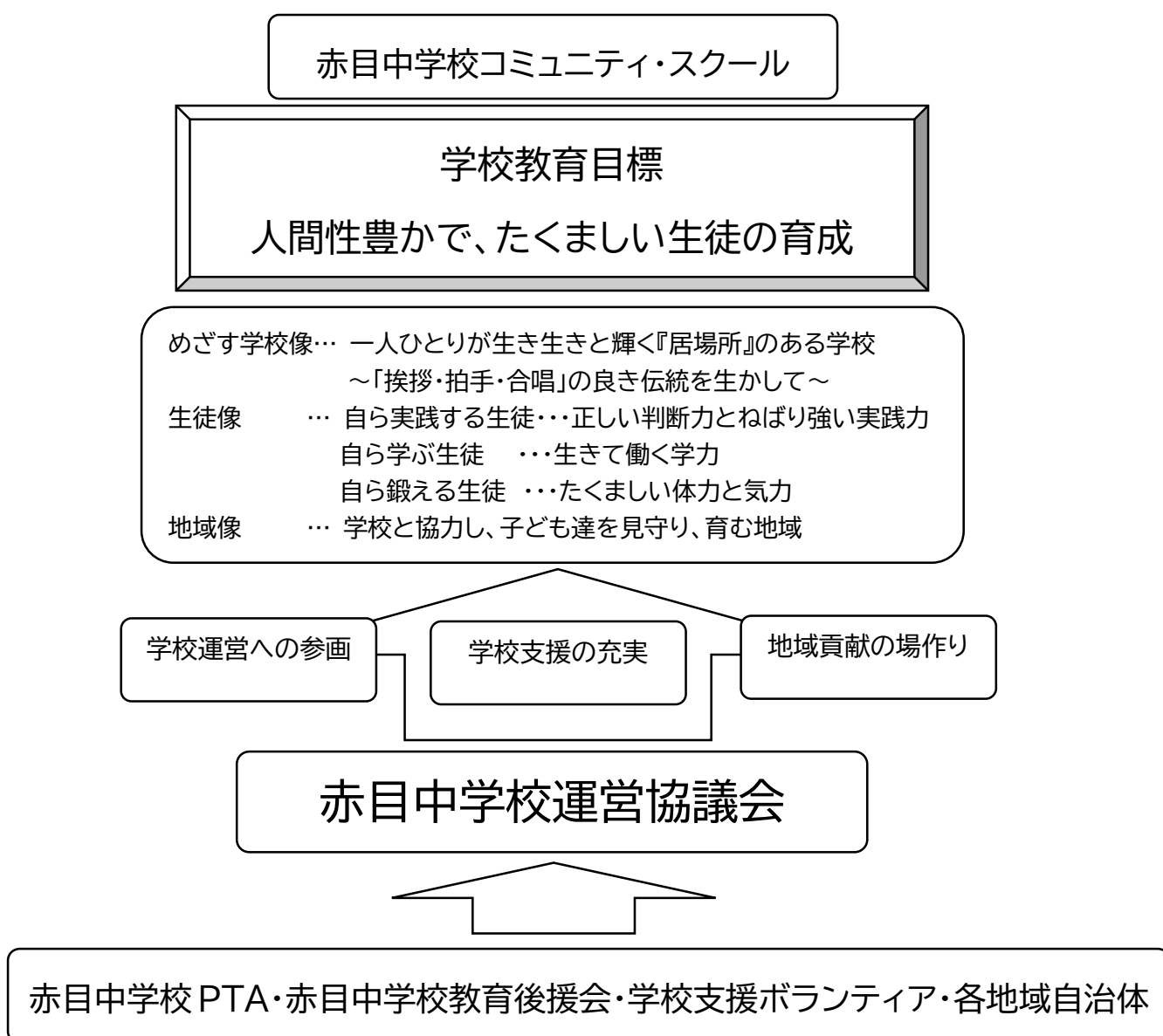
【成果】

◇学校の情報を学校運営協議会で共有し、地域行事等へも生徒が計画段階からスタッフとして参画していき、地域の方と生徒の交流が増え、地域の方からの中学生への理解が進み、生徒の自尊感情の高揚につながりました。また、防災訓練等、中学校が関わることで、地域活動の活性化につながった。

【課題】

◆学校が地域へ学校の様子や生徒の様子を更に発信し、キャリア教育等、地域の方から様々な学習資源等を提案していただいたり、生徒が地域貢献できる場をさらに提供していただいたりし、学校運営に積極的に参画していただき、地域とともに教育活動を推進していき、地域とともに生徒を育て、地域の中の学校となるように今後も取組を発展させていく必要がある

4. 学校運営協議会の組織図



桔梗が丘中学校

Ⅰ. 学校運営協議会の開催

【第Ⅰ回】学校運営協議会〈令和7年6月10日（火）13時30分～15時30分〉

- ① 学校見学
- ② 名張市学校運営協議会規則について
- ③ 委員紹介および会長・副会長の選出
- ④ 令和7年度学校運営の基本方針について
- ⑤ 小中一貫教育の進捗状況について
- ⑥ 学校の様子について
- ⑦ 令和7年度名張市総合防災訓練について
- ⑧ 各地区行事への参画について
- ⑨ 環境美化クリーンキャンペーンについて



①学校見学

【特 設】学校運営協議会と教員の懇談会〈令和7年8月7日（木）10時30分～11時30分〉

- ① コミュニティ・スクール その意義（教育委員会より）
- ② 自己紹介と懇談
「桔梗が丘中の生徒の現状と課題について」
「日頃、学校教育に携わっているなかでの苦労や悩み」
- ③ 懇談の交流



③懇談の交流

【第2回】学校運営協議会〈令和7年10月23日（木）15時30分～16時50分〉

- ① 校内教育支援センター『桔望ルーム』について
- ② 熟議
「不登校生徒を減らすために、学校・家庭・地域ができること」
～教職員との懇談会をうけて～
- ③ 11月15日（土）地域防災訓練について
- ④ 桔梗まつり、桔梗が丘・蔵持各市民センター祭との連携について



①『桔望ルーム』について

【第3回】学校運営協議会〈令和8年2月19日（木）13時30分～15時〉

- ① 令和7年度学校運営の成果と課題について
- ② 令和7年度の実践の成果と報告
- ③ 令和7年度学校運営協議会評価書について

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（Ⅰ）【学校運営への参画】

- ① 学校課題について共有し、取組についての意見をいただきました。
- ② 学校評価について協議いただきました。

(2)【学校支援の充実】

- ① 登下校時の交通安全ボランティアでは交差点やT字路に立っていただき、生徒が安全・安心に登下校できるサポートをしていただきました。その他にも、図書ボランティアや、部活動支援として茶道部、手話サークルでボランティアの方にご協力いただきました。
- ② 第1回学校運営協議会やオープンスクールにおいて、桔梗が丘中学校の学校運営協議会の委員さんや校区小学校の運営協議会の委員さんに授業の様子を見学していただきました。
- ③ 本年度2学期より本格試行をしている校内教育支援センター『桔望ルーム』を学校運営協議会の委員さんに支援いただくとともに、地域の回覧で募集して来ていただいた方にもお手伝いをいただいています。



①茶道部ボランティア

(3)【地域貢献の場づくり】

- ① 桔梗まつりや桔梗が丘市民センター祭、蔵持市民センター祭との連携により、美術部や『桔望ルーム』利用生徒によるポスター作成や当日の「お手伝いボランティア」として活動を行いました。また、茶道部や音楽部も出演し、お茶の振舞いやコンサートを行い、地域との交流を深めるとともに、地域の一員としての意識の醸成を図りました。
- ② 地域の自治会と協働し、防災訓練を地域の皆さんと一緒に実施しました。



①地域行事への参加



②防災訓練

3. 成果と課題

【成果】

- ◇「桔梗が丘中学校の特色ある行事や取組」として、一昨年度から参画している地域の行事である桔梗まつりや市民センター祭に本年度も参画し、ボランティアで参加する生徒が今までより大幅に増え、地域行事への生徒の参加をさらに進めることができました。
- ◇防災訓練を地域の自治会と協働しながら実施し、昨年度と取組を変更する地域もあり、徐々に取組内容を改善していくことができています。
- ◇登下校での交通安全において、地域の皆さんに生徒の様子を見ていただくことで、安全・安心に過ごす環境づくりにつなげることができました。
- ◇校内教育支援センター『桔望ルーム』の本格試行に地域の方にもお手伝いをいただき、本校の大きな課題である不登校対策の取組を進めることができました。

【課題】

- ◆防災訓練で取組内容が改善されている部分がある反面、地域によって活動の充実度に差がでてきている面があるので、来年度はどの地域でも充実した活動ができるよう学校と地域のさらなる協働を進めていきたいと思っています。
- ◆ボランティアの方の高齢化とともに、体調面や怪我等についての不安が挙げられます。元気に活動を続けていただくための環境づくりや何かあったときのための連絡体制整備などを進めていかなければいけないと思っています。

4. 学校運営協議会の組織図



北中学校

1. 学校運営協議会の開催

北中校区学校運営協議会連絡会〈令和7年4月24日（木）10時～11時〉

- ・北中校区4校の学校運営協議会会長と学校長による連絡会を実施。各運営協議会の取組の共有化と今年度の方向性を確認

【第1回】学校運営協議会部会長会議〈令和7年5月2日（金）14時～15時30分〉

- ・第1回学校運営協議会にかかる各部会の提案内容の確認と取組の方向性の共有化

【第1回】学校運営協議会〈令和7年5月22日（木）9時45分～12時〉

- ・学校運営協議会委員による授業参観 10時～
 - ①委員の委嘱と名張市「学校運営協議会規則」について
 - ②委員紹介、会長・副会長選出 各部会長の承認
 - ③学校経営方針及び学校経営計画の承認について
 - ④学校運営協議会連絡会での協議内容の報告について
 - ⑤小中一貫教育にかかわる進捗状況について
 - ⑥各部会の取組について
 - ⑦各部会による熟議と全体共有



【第2回】学校運営協議会部会長会議

〈令和7年10月14日（火）11時～12時〉

- ・第2回学校運営協議会にかかる各部会の提案内容の確認と取組内容の共有化

【第2回】学校運営協議会

〈令和7年11月4日（火）13時～14時30分〉

- ①生徒会による取組の発表と懇談会
- ②各部会（学校運営部会・学校支援部会・地域連携部会）の取組報告
- ③各部会での協議、下半期の具体的な取組の確認、全体共有



【第3回】学校運営協議会部会長会議〈令和8年1月19日（月）〉

- ・第3回学校運営協議会にかかる各部会の提案内容の確認と取組総括の共有化

【第3回】学校運営協議会〈令和8年2月5日（木）〉

- ①本年度の実施結果及び成果と課題
- ②学校自己評価について
- ③生徒会本部を含めた委員との熟議
- ④来年度に向けて

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

- ①学校運営（基本方針等）の承認
- ②生徒の地域参加についての熟議
- ③各部会での取組
 - ・学校運営部会 外部評価、校区内小学校の学校運営協議会との連携
 - ・学校支援部会 環境美化、通学路の安全点検、学習支援・部活動支援・地域居場所づくり
 - ・地域連携部会 地域防災活動への生徒参加支援、各まちづくり組織との連携
- ④学校運営部会を中心に「学校評価」についての協議を行い、まとめる予定

(2)【学校支援の充実】

①学習支援

・夏季休業中の学習のサポート 8月19日(火)・21日(木)・22日(金)

・秋季の学習のサポート 11月20日(木)・21日(金)

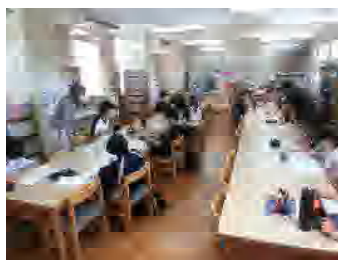
学校支援部会を中心に計画していただいた。毎回多くの生徒が参加し、基礎学力の向上だけでなく、「夏休みの課題」を完成させ不安なく新学期を迎えることにつながった。学習の支援だけでなく、地域の方との交流の場にもなっていた。秋季の期末テスト時期にも追加した。2月の学年末テスト前にも学習サポート会を予定。

(1・2年生) 2月12日(木)・13日(金)・16日(月) 予定

・家庭科の調理実習作業のサポート 10月6日(月)～8日(水)、20日(月)～22日(水)

・1年生の朝の読書の時間における
絵本読み聞かせ

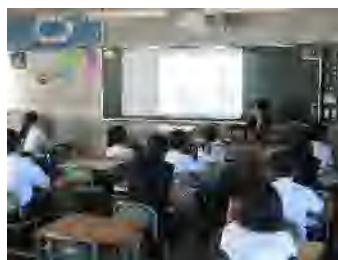
10月17日(金)・24日(金)・11月7日(金)
12月12日(金)・19日(金)・1月23日(金)



夏季休業中の学習サポートの様子



調理実習のサポート



絵本の読み聞かせ

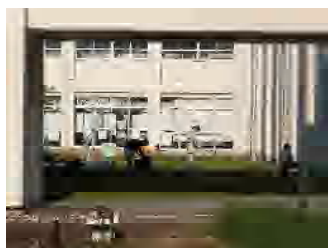
②環境整備

・中庭の整備 8月17日(日)

P.T.AのO.BやO.Gを中心に学校支援のために結成されている「北斗会」の方々により、中庭の整備及び草刈りをしていただいた。

・自転車のパンク修理

生徒の自転車がパンクした際には、学校支援ボランティアさんがすぐに駆け付け、自転車の修理をしていただいている。



中庭の整備



パンク修理



校庭の草抜き

③地域居場所づくり

9月17日(水)、10月15日(水)、11月19日(水)

1月21日(水)、2月18日(水)、3月18日(水)

第3水曜日に各市民センター(美旗・すずらん台・薦原)とさつき台第1集会所を借りて不登校生を対象とした、居場所づくりを開催した。参加生徒延べ2名であった。

(3)【地域貢献の場づくり】に係る具体の取組

①古谷部長と生徒会本部役員との懇談会

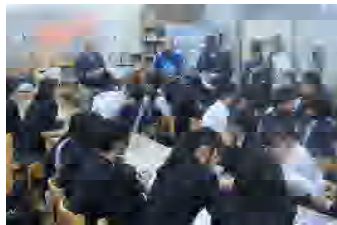
「災害時に中学生としてできること」をテーマに、昼休みの時間を使って生徒会本部役員7名と古谷部長との懇談会をもった。

②名張市防災訓練に向けた打ち合わせ 11月4日(火)

地域の「総務班」「施設管理班」「避難者支援班」「物資班」「救護班」「衛星班」の6つの班の班長さんと参加する生徒46名が、避難所開設訓練の運営について事前の打ち合わせを行った。当日の流れや動き役割分担など、参加生徒は地域の方と共に確認することができた。

③地域防災活動への生徒参加

11月15日（土）に実施された名張市総合防災訓練では、避難所運営委員会と共に生徒代表者46名（生徒会本部役員・薦原小地区）が参加し、それぞれの役割で開設・運営の体験をした。昨年度より参加生徒数や分担内容も増え、参加した生徒はより主体的に取り組む姿が見られた。訓練終了後、参加した生徒は振り返りを行い、午後の授業で各学級の生徒に還流をした。また、訓練学習シートで防災の学習を行った。生徒は、災害時に地域の一員としてどのように判断し、動かなければいけないのかを学ぶことができた。

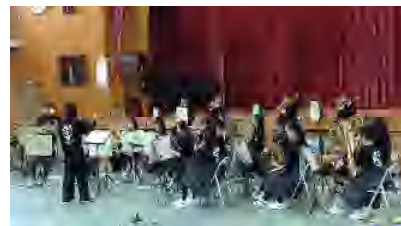
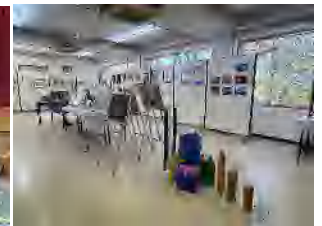


②地域の方と打ち合わせ

④まちづくり 主催のイベントへの参加

- ・市民センターの学習成果物展示
すずらん台10月12日（日）
美旗 11月22日（土）・23日（日）
- ・すずらん台納涼夏祭り・美旗秋祭りでの
生徒による司会進行
8月2日（土）・9月27日（土）
- ・薦原コモコモ祭りでのウインドアンサンブル部の
演奏や美術部の作品展示
11月9日（日）

③避難所開設訓練当日の様子



④すずらん台フェスタ

④薦原コモコモ祭り

④美旗秋祭り



3. 成果と課題

【成果】

- ◇学校の現状、運営の方針を理解していただいたことにより、成果だけでなく課題となっている事にもそれぞれの視点から示唆や支援をいただいた。
- ◇本校の学校運営協議会の3つの部会（学校運営部会、学校支援部会、地域連携部会）のメンバーが、必要に応じて話し合いをもち、必要な支援や具体的な取組を継続的に実施できた。特に学習支援部会により夏季休業中に実施した学習会では、基礎学力の向上だけでなく、新学期を迎えるにあたり、課題が完成せず不安を持つ生徒が少なからずいる中、多くの生徒が参加して不安を払拭し、新学期を迎えることにも繋がった。今年度は秋季の時期を増やした。
- ◇校区内各小学校の学校運営協議会との連携も必要であることをふまえ、年度当初に北中校区4校の各運営協議会会長と学校長が集まり、北中校区学校運営協議会連絡会を開催し、取組の交流や成果・課題を共有することができた。
- ◇本年度は、市の総合防災訓練時に、生徒が各地域の一時避難所場所に避難し安否確認を行い、その後、地域で防災活動を行っていただき、（すずらん台小・美旗小地区）より地域と中学生とのつながりが深まった。また、内容も昨年より充実していた。
- ◇全ての地域のイベントに参加（展示物や吹奏楽演奏・イベントの司会）する機会が増え、地域の方に子どもの姿や学校での活動成果を見てもらう、知ってもらう機会が増えたことや関心を持ってもらうことができた。

【課題】

- ◆年々地域の方との積極的な活動になってきている。その中で、各事情（各地域の地域性や特色）により要望は異なるが、部活動の活動（大会等）との兼ね合いで、なかなか調整が難しい。
- ◆生徒の地域行事への参加について、まちづくり協議会と連携をさらに図りながら進めていきたい。地域の中で子どもを中心に必要な取組を地域とともにさらに協働していきたい。

4. 学校運営協議会の組織図



南中学校区（つつじが丘小学校・南中学校）

1. 学校運営協議会の開催

【第1回】学校運営協議会〈令和7年6月12日（木）10時～12時〉 会場：つつじが丘小学校

- （1）授業参観
- （2）挨拶（つつじが丘小学校長より・運営協議会会長より）
- （3）会長・副会長の指名、運営協議委員の自己紹介、協議会規則等の確認
- （4）子どもの様子（授業参観の様子から）、普段の様子（学校から）
- （5）令和7年度学校経営方針について
- （6）重点取組内容について
 - ・プログラミング教育
 - ・人権講演会
 - ・地域防災訓練
 - ・つつじっ子会議

【第2回】学校運営協議会〈令和7年10月23日（木）10時～12時〉 会場：南中学校

- （1）授業参観
- （2）挨拶（南中学校長より・運営協議会会長より）
- （3）子どもの様子（授業参観の様子から）、普段の様子（学校から）
- （4）重点取組内容について
 - ・プログラミング教育
 - ・国際交流イベント
 - ・人権講演会
 - ・地域防災訓練
 - ・つつじっ子会議
 - ・小中一貫教育アンケート
 - ・いのちの授業

【第3回】学校運営協議会〈令和8年2月10日（火）10時～12時〉 会場：つつじが丘小学校

- （1）授業参観
- （2）挨拶（つつじが丘小学校長より・運営協議会会長より）
- （3）子どもの様子（授業参観の様子から）、普段の様子（学校から）
- （4）小中一貫教育に関わるアンケート
- （5）学校評価（各学校より）
- （6）本年度の取組の反省と課題について
- （7）学校評価書

2. 名張版コミュニティ・スクール3本柱に係る取組

（1）【学校運営への参画】

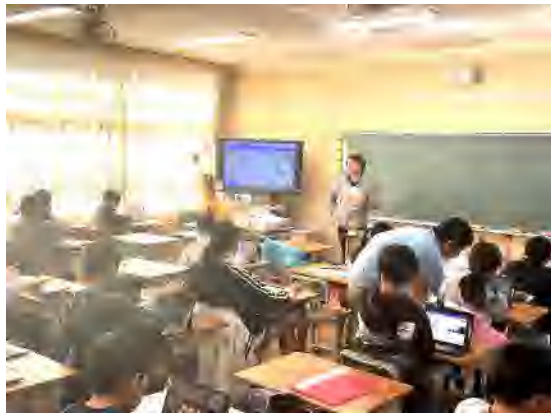
- ① 基本方針等の説明をし、承認をいただき、確認を行いました。
- ② 学校課題についての協議を行い、今後の方向性を話し合うことができました。
（子どもの様子について、授業について、プログラミング教育、交通安全等について等）
- ③ 学校評価について協議いただき、「学校評価書」としてまとめました。

（2）【学校支援の充実】

- ① 小中一貫教育への支援をいただきました。
- ② ふれあい隊による清掃支援や更生保護女性会によるあいさつ運動の協力をいただきました。
- ③ クラブ・部活動への支援をいただきました。
- ④ 図書館整備等の支援をいただきました。
- ⑤ 紙芝居を行っていただきました。
- ⑥ 折り紙教室を行っていただきました。
- ⑦ 「NPO法人こどもの安全を守る会コアラ」の皆さんに登校指導及び安全パトロールを行っていただきました。



運営協議会議より



小6 プログラミング教育

中1 プログラミング教育



名張市総合防災訓練

子どもフェスタ



国際交流イベント

人権講演会

⑧ つつじが丘・春日丘自治連合会による、標語募集の協力をいただきました。



交通標語表彰式（小学校）



あいさつ標語表彰式（中学校）



あいさつ運動（小学校）



あいさつ運動（中学校）

（３）【地域貢献の場づくり】

- ① つつじっ子会議を実施し、あいさつ運動について話し合いました。
- ② 中学生が学校で、地域のマスコット「えみらる」と朝のあいさつ運動を実施しました。
- ③ 小学生が学校で朝のあいさつ運動を実施しました。

３．成果と課題

【成果】

- ◇学校運営協議会委員による授業参観は、直接の児童・生徒の様子を見ることができ、学校での子どもたちの様子を理解していただく上で、大変有効であり、今後も継続していきたいと考えています。
- ◇つつじっ子会議では、今年度の取組の中心として、あいさつをテーマにあいさつがあふれる地域にしていこうと活動を進めました。２学期の終わりには、中学生が小学校に出向き、小学生の運営委員会等のメンバーと一緒にあいさつ運動を実施することができました。
- ◇コミュニティ・スクールとしての活動の一環として企画したプログラミング教室については、本年度も近畿大学工業高等専門学校（以下、近大高専）の協力をいただきながら近大高専の教員や学生に小中学校に来校していただき、クラス別に実施することができました。学習内容も小中がつながるような内容にすることができました。

【課題】

- ◆名張市総合防災訓練時、小学生は自治連合会との協議により、自治連合会主催の地域防災訓練には参加せず、学校独自で避難訓練を実施しました。今後は、地域と小学校が連携した防災訓練のあり方等について、再度協議していく必要があります。

4. 学校運営協議会の組織図

南中学校区では小学校と中学校の教職員が4つの部会（まなび部会・こころ からだ部会・ちいき部会・事務部会）に分かれて、小中一貫教育を実施しています。学校運営協議会についても小学校と中学校の組織を一つにして、南中学校区として会議を開催しています。南中学校区学校運営協議会では、この小中一貫教育の内容について情報共有しながら、実践への参画・支援・場づくりを行っています。また、学校課題についても共有し、取組についてご意見をいただいています。



コミュニティ・スクールだより

2025.4
Vol.48

名張市教育委員会事務局発行

新年度最初の本号では、地域学校協働活動推進員（以下、「推進員」）について、昨年度に研修会講師として来てくださった山口県地域連携教育アドバイザー・木本育夫さんのご講演内容をもとに、その役割をお伝えします。

「地域学校協働活動推進員」とは？

地域が学校や子どもたちを「応援・支援」という一方向の関係から、地域と学校がパートナーシップに基づき双方向の関係となっていく地域学校協働活動。その主体は「人」であり、その中心として、地域と学校の連絡調整、情報共有、活動の企画、調整、運営、啓発などの役割を担うのが「推進員」です。「推進員」は教育委員会の委嘱によって、その立場が明確に位置づけられ、学校運営協議会へも参画します。そうすることで、必要な支援等について学校運営協議会で協議が行われ、その結果を踏まえて、より円滑かつ効果的に地域学校協働活動が行われ、教育活動の充実や教職員の負担軽減など、学校運営の改善に結びつけることができます。

「地域学校協働活動推進員」＝地域と学校をつなぐコーディネーター

社会教育法（第9条の7）に基づき、教育委員会が委嘱、信頼性の高いコーディネーター
■学校運営協議会委員として参加 ■関係者との連絡調整 ■地域ボランティアの募集確保



名張市では従来からも「推進員」の役割を担い、活動してくださる方がいます。今年度からは、教育委員会が正式に委嘱し、活躍いただけるよう取組を進めています。

錦生赤目小学校学校運営協議会が 令和6年度文部科学大臣表彰受賞

学校と地域が連携・協働し、コミュニティ・スクールと地域学校協働活動を一体的に実施する取組として評価され、この度、錦生赤目小学校の学校運営協議会が文部科学大臣表彰を受賞しました。赤目中学校の学校運営協議会で行われた生徒との懇談、提案から始まった「あかめこどもフェスタ」への参画や運営活動をはじめ、錦生地区の高齢者の方々と交流、「赤目夏祭り」での子どもスタッフとしての参加など、2つの地域と学校が育てたい子ども像をしっかりと共有し、進めてきたことが認められました。

また、学校運営協議会委員が教職員全員と熟議を行ったり、6年生の子どもたち全員と懇談を行ったりするなど、ねらいを明確にした学校運営協議会が行われ、コミュニティ・スクールとして充実させてきています。受賞、おめでとうございます！

あかめこどもフェスタ 参画・運営 錦生地区 高齢者と交流 赤目夏祭り 子どもスタッフ 学校運営協議会委員が市長を表敬訪問



「コミュニティ・スクール実践集2024」ご覧ください

令和6年度の市内小中学校のコミュニティ・スクールの実践を紹介しています。

学校運営協議会委員及び地域のみなさま方、名張の子どもたちの学びと育ちのためにご理解とご協力をいただきましたこと、大変感謝申し上げます。



こちらの二次元コードを読み取っていただくと、市のホームページから実践集をご覧いただけます。



コミュニティ・スクール（CS）だより

2025.09.16
Vol.49

名張市教育委員会事務局発行

朝夕に秋の気配が感じられるようになりました。これから学校や地域の文化・体育的行事が行われる季節です。今年度の夏季休業期間中も「子どもたちのために」と学校運営協議会で熟議されたことを生かし、地域学校協働活動と連携しながら活動を進めている学校、地域が多くありました。今号では、その内容と、6月に行われた「小中一貫コミュニティ・スクール推進協議会 講演会」の内容や参加者の声をお伝えします。

第1回小中一貫コミュニティ・スクール推進協議会 講演会開催



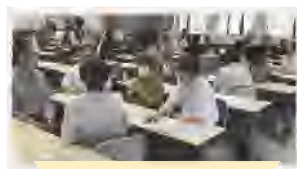
昨年度に引き続き、栃木県地域政策課社会教育指導員及び文部科学省CSアドバイザーの鈴木廣志さんにお越しいただき、「コミュニティ・スクールの可能性パートII～CSと地域学校協働活動の一体的推進に向けて～」という演題でご講演をいただき、推進協議会委員及び各校の学校運営協議会委員や教職員等、ご講演の中で参加者同士が意見交流をしました。

昨年はCSの充実に向けて、学校運営協議会を活性化させるためには学校、保護者、地域がどんな意識をもって参加、参画すればよいのかということをお話していただきました。今年は一歩前進し、地域学校協働活動とは、またCSと一体的に進めていくとはどういうことかというお話を他地域の先進的事例を挙げ、ご教授いただきました。



～参加者アンケートから～

参加された皆さんが様々なCSの取組や、地域学校協働活動を展開されている中で、今回の講演会の内容を地域の子どものために、どう生かそうかと思索してくださっている様子が講演会中での話し合いや、その後のアンケートからも伝わってきます。



～「うちの学校」自慢～
グループ討論の様子

「学校教育と社会教育の往還」という言葉が一番印象に残っています。この意識を持つことで、皆が自分事として、子どもたちや学校・地域に関わっていくことができると感じました。

「大人の学びにつながっていく」という鈴木先生の言葉が印象に残っています。CSを通じて地域がつながればと思います。



名張市でも…

CSと地域学校協働活動を一体的に進めています！

本市では、すでにCSと地域学校協働活動が連携・協働して、子どもの学習支援や居場所づくり、地域行事への参画・運営など、子どもの学びや成長について議論し、取組を進めている学校・地域があります。そして「地域学校協働活動推進員」（※CSだよりVol.48の「地域学校協働活動推進員」とは？）もご覧ください」という学校と地域をつなぐコーディネーターの役割をしてくださる方もいます。

その役割を明確化しようと、今年度の5月より地域学校協働活動推進員の委嘱をすることになりました。現在は4校区で5人の委嘱ですが、地域や学校と相談をしていく中で、順次進めていきます。

市内CSの取組より

1学期から夏休み中に行われた各学校運営協議会では、各校で学校・家庭・地域がめざす子ども像を共有し、育ちに関わる当事者として学校経営方針の承認、学校課題の共有化、教職員との熟議や懇談、子どもの学校運営協議会への参加など、目的や意図に応じて会議の持ち方が工夫されていました。一部をご紹介します。

赤目中学校



赤目中学校では、「地域と学校の連携について思いを伝え合う」ことをテーマに多くの教職員が参加し、委員と懇談を行いました。

桔梗が丘中学校



桔梗が丘中学校では、学校課題を教職員と委員が共有し、学校と地域が協働してできることはないかを話し合いました。

名張中学校



名張中学校では、「子どもを主役としたこれからの学校支援の在り方について」をテーマに、委員や学校支援ボランティア、教職員が熟議を行いました。

3校とも委員と教職員がめざす子どもの姿を共有しながら、CSを進めようとして取り組んでいます。

コミュニティ・スクール (CS) だより

2025.12.25
Vol.50

名張市教育委員会事務局発行

教育推進シンポジウム「子どもを核とした生涯学習ネットワーク」

「子どもを核とした生涯学習ネットワークの「いま」～まなぶ・つどう・むすぶ～」と題し、本市の取組やその分野に関わってくださっている地域の方の活動内容を紹介し、「家庭・地域の教育力の向上」「持続可能な社会の創り手の育成」「子どもの社会への主体的参画」を目指した学校づくりや地域づくりについて学び合うシンポジウムを開催しました。

はじめに西山教育長からは、令和6年度名張市子ども教育ビジョン進捗状況について、学力と不登校という2つの教育テーマで報告をしました。そして、学力向上や不登校の未然防止のための支援や環境づくりをはじめ、子どもの学びと育ちにおいて、本市では今や地域の方との連携・協働は欠かすことのできない大変重要なものであるということを経験の方々の日頃の感謝と共に伝えられました。

後半は本市や各地域における子どもが健やかに育つ環境づくりの取組について紹介し、さらに子どもを中心とした地域づくりに関わってくださっている3人のゲストをお招きし、その活動の内容や思いを聞かせていただきました。



箕曲小学校区の学校運営協議会委員と地域学校協働活動推進員を兼任してくださっています。箕曲地域づくり委員会の放課後子ども教室「みのわはなもクラブ」にも力を尽くしてくださっています。「子どもは地域の宝!」という思いで、学校教育活動と地域活動をつないでくださっています。

「地域と学校を“むすぶ” 福田 明日子さん



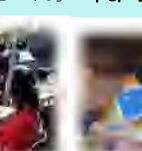
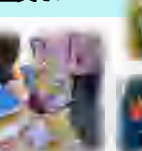
青少年育成市民会議の会長として、子どもの非行防止、リーダー養成などの子どもの地域での主体的な活動の場づくり等、青少年健全育成に取り組んでくださっています。「いつも見守っているよ」という思いをもって活動してくださっています。

「深く大きく息を吸って、のびのびと“まなぶ”をつくり、子どもたちの健やかな成長をねがって、「愛の一声」運動を組織する」高田 正さん



南中学校区の学校運営協議会委員と地域学校協働活動推進員を兼任してくださっています。くにつつじ地区民生・児童委員や子育て中の親が集えるおじゃまる広場も運営され、家庭教育を支援しながら、南中学校やつつじが丘小学校で、ベビースマイルや絵本読み聞かせ、清掃活動支援、地域のフェスタ運営など、子どもと地域、学校と地域をつないでくださっています。

赤ちゃんから(中学)卒業後、そして、子育てママ、パパの“つどう”をつくる 草部 豊美さん



名張市では、子どもを中心とした地域づくり、学校を核とした地域づくりが展開されています。これからも、地域とともにある学校づくりと一体的に進め、子どもの学びや育ちをより豊かにすることをめざし、コミュニティ・スクールの取組をさらに充実させていきます。

コミュニティ・スクール (CS) だより

2026.2.13
Vol.51

名張市教育委員会事務局発行

第2回小中一貫コミュニティ・スクール推進協議会 講演会開催



1月30日、山口県地域連携教育推進会議代表アドバイザーの本木育夫さんにお越しいただき、「コミュニティ・スクールの充実に向けた方策～学校運営協議会と地域学校協働活動との連携のあり方～」という演題でご講演をいただき、推進協議会委員及び各校の管理職等が校区に分かれて、意見交流しました。本木先生からは学校と地域の人々が相互理解や信頼関係を高めるためには学校運営協議会の中身やコミュニティ・スクール(以下、CS)を十分に機能させるためにどのような取組が必要かという観点でお話をいただきました。本木先生が名張のCSの課題であると感じていることをチェック項目として示していただき、効果的なCS運営のポイントを話してくださいました。

～CS推進にあたって学校では～

- ◆ビジョンの共有と発信
 - ・育てたい子ども像、めざす学校像(学校経営方針)等のビジョンを示す
- ◆教職員への情報提供
 - ・地域等との連携・協働の必要性を示す
 - ・協議会での協議の内容を情報提供する
- ◆教職員と委員との交流機会をつくる
 - ・交流会や熟議の場を設け、一体となって進むための機運を高める
- ◆学校を知る機会をつくる
 - ・学校の教育活動を知ってもらうのが大切である
 - ・学校公開や行事等への参加機会の提供
 - ・教職員による学校の現状等のレクチャー会等を実施する

～CS推進にあたって学校運営協議会では～

- ◆校長のビジョン(学校経営方針)を受け、内容を共有する
 - ・育てたい子ども像、めざす学校像の理解、共有する
- ◆学校を知るために動く
 - ・学校公開や行事等への参加
 - ・子どもたちの現状と課題、学校教育の内容等を学ぶ
- ◆教職員、保護者との交流機会をもつ
 - ・交流会や熟議の場へ参加し、つながりをつくる
- ◆広報活動を行う
 - ・教職員に地域との連携・協働の必要性を示す
 - ・協議会の内容等を地域に発信する

市内CSの取組より～教職員と委員のつながりを～



桔梗が丘中学校区の各学校は、教職員との懇談を工夫して行いました。それぞれの学校の課題や、めざす子ども像の育成に係る目標を共有し、教職員と委員が顔を合わせて話をする貴重な機会となりました。(桔梗が丘中学校の取組は「CSだよりNo.49」参照)

～桔梗が丘東小学校

学校運営協議会では～

学校運営協議会で話し合われたことが地域や保護者に共有されにくいという実態があります。内容によっては、共有されることでさらにCSや地域学校協働活動が充実することもあります。

桔梗が丘東小学校の学校運営協議会委員であるPTA会長さんは協議会が終わると、いつも全保護者向けにラインワークスや学校HPを通じて、学校の様子や協議内容等を精査して発信してくださっています。

(非公開事項は除き、校長の了承を得て発信しています)

